広報まにわ
4
2007
第24号

賑(にぎ)わいと安らぎの杜(もり)の都　真庭

主な記事

■ゼロエミッションフォーラム開催　P2～
■お知らせワイド版　P10～
■市政トピックス　P18～
■真庭が好きっ 読者の広場　P28～
■ぐるっと真庭 まちの話題　P34～

時代は、真庭の資源を見直し始めている

昭和35年～45年の高度成長期、
一斉に機械化が進んだ時代

山村の人たちは自分たちの子どもに、
「早くこんな山村を出て行け、
親を踏み台にして都会に出て
一旗揚げて世界に通用する人間になれ」
と言って送り出した。

その子たちが帰ってこない。

あのとき、なぜ、子どもたちに
「お前らは俺のあとを継げ、
俺も自信を持ってここで生きて来たのだから、
お前らもここで生きていけ」
と言えなかったのか…

ゼロエミッションフォーラム in 真庭より

上地区（勝山）の有志が運営する「宮峪窯(みやさこがま)」

ゼロエミッションフォーラムin真庭

2007 2.23 開催

2月23日、久世エスパスホールで開催した「ゼロエミッションフォーラムin真庭」。市内、全国から多くの皆さんが参加し、廃棄物のゼロ化を考えました。フォーラムでは、真庭地域における事例発表に続き、作家のC・W・ニコルさんらによる基調講演、パネルディスカッションが行われました。

21世紀は「環境の世紀」と言われます。今、地球で起こっている地球温暖化、森林破壊、砂漠化などの問題を解決するには、これまでの生活を少し見直す必要があるのかもしれません。

わたしたちが、これからも真庭で豊かに暮らしていくには、何を考え、どう行動していけばよいのでしょう。そのヒントがたくさん盛り込まれたフォーラム。内容をお伝えします。

ゼロエミッションとは

ある産業から出るすべての廃棄物をほかの分野の原料として活用し、あらゆる廃棄物をゼロにすることで新しい資源循環型社会の形成を目指す考え方として国際連合大学が提唱している構想です。簡単に言えば、廃棄物や廃熱として捨てられているものを活用して、無駄に燃やされたり、埋められたりしないようにすることです。

バイオマスとは

再生可能な生物由来の有機物資源（化石燃料を除いたもの）を指す言葉です。木くず、紙くず、生ゴミ、家畜のふん尿、下水の汚泥などで、わたしたちの身近にもたくさんあります。その一部は今までも肥料や燃料として使われてきています。

約500名が参加し、満席となった会場

真庭地域における事例紹介

フォーラムでは、真庭地域の３つの事例紹介から始まりました。

●銘建工業株式会社

集成材生産過程で生まれる、木くず・樹皮はバイオマス発電に、かんなくずは木質ペレットとして生産。工場内のシステムを紹介。

◀工場から出た木くずなどがこの貯蔵施設に集まる

▲かんなくずを固めペレットを生産するペレタイザー

●ランデス株式会社

真庭の木材利用を高めるため、製材チップを利用した木片コンクリート製品や間伐材を利用した製品など、コンクリートの２次製品を紹介。

木片を混ぜたガーデニング用製品と、木粉を混ぜた舗装用ブロック▶

▲カワウから魚類を守る間伐材沈床

●三井造船株式会社

木質バイオエタノールの製造実証におけるプラント、木くずや木材チップからエタノール製造までの技術過程を紹介。

◀真庭産業団地内にあるエタノール生産実証プラント

▲製造されたバイオエタノール

昨年12月から真庭の先進的な事例を視察に来られる皆さんを対象に、市観光協会とともに始めたバイオマスツアーの様子

バイオマスを活用したまちづくりに向けて

地球温暖化防止や循環型社会の実現に向けて、国策としてバイオマスの利活用を推進していく「バイオマスニッポン総合戦略」が決定されたのが、平成14年12月。

平成17年3月に誕生した真庭市は、すぐさま先行していた木質系バイオマス利活用に加え、市内におけるバイオマス資源の総合的な利活用を推進する「バイオマスタウン構想」を立案、「バイオマス利活用計画」を策定しました。

この構想が平成18年4月、バイオマスタウンとして認定されました。認定は、バイオマスを活用した「まちづくり」に取り組んでいる地域だという証です。真庭市の取り組みがインターネットを通して、全国へと紹介されました。

今回のフォーラムは、地球規模の問題解決に取り組む国際連合の機関、国際連合大学と共同して実現。真庭市の先進的な取り組みを全国へ発信し、さらには市民皆さんへバイオマスタウン実現への理解を深めるためのものです。バイオマスを利活用した循環型社会を築くには、産業界だけでなく市民皆さんの理解と協力が必要なのです。

◀「バイオマスタウン真庭」の実現に向けて
真庭市のバイオマスの取り組みを分かりやすく説明したリーフレットを作成しています。

■全国のバイオマスタウンは69市町村（平成19年１月現在）、下記のホーム ページでご覧いただけます。
バイオマス情報ヘッドクォーター
http://www.biomass-hq.jp

森づくりは放置ではない、手を入れること。未来を担う子どもにも同じことがいえます。

調演講基

わたしはもうすぐ67歳になります。50年前、日本で暮らすようになるとは想像すらしていませんでした。

子どものころから大自然へあこがれ、17歳のときに親の反対を押し切って北極探検へ、そのあとの越冬隊による北極在住。英国を出て、国土が広く野生のすばらしいカナダでの暮らしは想像以上のものでした。北極に住む民族、イヌイットの人々は戦争をしない、自分たちの自然を破壊しない民族です。イヌイットの人々との出会いから、自分の人生は自然と共に暮らせる人々と一緒にいたい、イヌイットの人々の一部になりたいと願うようになったのです。

でもなぜ、日本に来たのか。わたしは、英国では少数民族のウェールズ、ひどいいじめにあってきました。自分を守るだけでなく弱いものを守りたい、日本の武道（空手）を学ぼうと22歳のとき日本にやって来たのです。修行で日本の冬山に行ったとき、到着した駅から少し離れると雪の中にブナの原生林の世界が広がっていました。そこにはクマがいる、イノシシがいる、そこで暮らす人々も自然と共に暮らしていました。新しい世界を見つけたという感動を覚えたのです。

その後、日本を離れ紛争の絶えないエチオピアなどで自然保護活動をしましたが、自然と共に暮らせる文明国は日本だけだといつも思っていました。30歳になって日本に戻ったとき、日本は天国に見えました。40歳のときには黒姫（長野県）に定住を決めました。ところが日本は変わっていたのです。あの美しい原生林の多くが失われていたのです。大きなショックを受けました。国の命令で木を切っている、年輪を見ると樹齢450年の木々なのです。水が枯れ、動物が姿を消しました。自然保護活動をしていくなか、自然を愛する多くの仲間もできましたが、その人たちの声は届きません。全国から森林破壊の様子が手紙で届く日々、もう日本にいるのはやめよう…。

何年ぶりかで生まれ故郷の英国ウェールズを訪ねたのは、そうした日本の状況に対して絶望のどん底にある時期でした。ウェールズで森の再生にかける人々の努力と情熱を目の当たりにし、お世話になった日本へお返ししたいと心に決めました。日本の森を、再び野生動物の棲（す）める豊かな森に戻したい、森を育てていこうと。

わたしは小さな森を買いました。やぶを切り開き、光を取り込みます。池を掘りました、でも池を作ったのは自然。光を入れると花が咲きます、昆虫がやってきます、小鳥が来たら種を落としてくれます。光と共に歌が聞こえるようになるのです。木が元気になると実をたくさんつけます。そんな森で、いろいろなことを試しました。炭焼き、鳥の巣箱掛け、動植物の観察、水質・地質の調査。

大切なことは、森づくり・自然保護は放置じゃないということです。原生林でも、里山、植林山でもそう、放置したら良くはなりません。

もちろん人間でも放置はいけません。今の子どもはどうですか。日本が豊かになるほど、子どもを大切にしていないと思います。45年前、日本は田舎こそ、子どもは楽しそうでした。日本は子どもの天国ではないかと思ったものです。今、日本の子どもは幸せでしょうか。親と一緒にいられない、心に大きな傷を負った子どもたちをわたしたちのつくった森に連れて行きました。森の中の子どもたちの表情を見てください。

（ビデオ上映）

最後に言いたいことは、地元の自然を正しく利用しながら子どもも幸せ、老人も安心できる、そんなたくましい産業を地元につくってほしいということ。環境を大切にして美しい日本をつくりましょう。

日本は良いところです。日本人が大好きです。45年前、日本に来たとき、そうでしたから。日本国籍をいただいたことを心から誇りに思っています。

C.W.ニコルさん　演題：「森から未来をみる」

作家、(財)C.W.ニコル・アファンの森財団理事長。英国南ウェールズ生まれ。カナダ水産調査局北極生物研究所の技官、環境局の環境問題緊急対策官やエチオピアのシミエン山岳国立公園公園長など、世界各地で環境保護活動を行い、1980年から長野在住。

石油、石炭、鉱物などはいつか枯渇してしまいますが、バイオマスは木や作物を上手に生産すれば千年、万年でも利用できます。バイオマス資源を上手に利用して、わたしたちの子どもや子孫が自然環境を破壊することなく、燃料・食料・水など暮らしに必要なものを得られる、そして、地域の発展に結びつける持続可能な循環社会を目指して活動しています。

持続可能とはどういうことか例を挙げますと、1つ目は南米エクアドルのコタカチ郡。ここでは銅山の開発を機に、今ある自然を生かして生きていく道を選びました。世界でも希な自治体の直接民主主義制度を導入し、地域住民全体で鉱山開発に反対して、町の自然を生かした産業、有機コーヒー栽培やエコツーリズムなどで生きる道を目指しています。

2つ目は徳島県上勝町。この町は料亭などで使われる葉「つまもの」のビジネスで成功した町です。バイオマスをエネルギーで利用しようとするとキロ当たり数十円ですが、この町の葉っぱは、キロ当たり数万円になります。地域の資源にどれだけ付加価値を付けることができるか、良い成功例です。

3つ目は『アマゾンの畑で採れるメルセデスベンツ』です。ブラジルのベレン市には、農村で食べていくことができる産業開発を進め、ココナツの繊維で自動車のシートを作る工場があります。このように地域資源をいかに付加価値化するかが持続可能性につながります。

持続可能な地域発展の要素として、地域生態系の維持・活用が挙げられます。ここで重要なのは日本には伝統的な里山が存在しています。里山は優れていて、日本人はその生態系を維持し上手に活用する文化の中で生きてきたのに、この数十年で廃れてきています。現在、日本は山にある資源（木材）を使わずに、木材の多くを輸入に頼っているのです。里山を上手に利用してエネルギー・食糧・木材を地域で自給できれば、地域でお金が回ります。それに加えてツーリズム、観光ですね。ただ見て回るというだけでなく、食、健康、参加などの付加価値を付けて何度も何度も通ってくれるシステム、これは住民でもいいのです。住民自身がどれだけ地域に関わることができるか、人がどう動くかが持続可能な発展につながるポイントになります。

大量生産、大量消費、大量廃棄の仕組みでは長くは続かないのは分かっています。大きく変換する前に、少しずつ準備しておけば、試行錯誤もできる、また、被害も少ないのです。今の仕組みを変えていくことが必要なのです。

持続的、低環境負荷、地産地消、自立型地域社会発展につながるのが良いバイオマスとすれば、逆に悪いものは、非持続的、環境負荷が大きい、社会的問題を引き起こす、生態系の破壊をもたらすバイオマスです。今、日本ではバイオ燃料導入が進められていますが、そのほとんどは輸入に頼らざるを得ません。特にマレーシアなどから輸入されるパームオイルは、熱帯林の減少、農薬被害、児童労働などにつながるものもあります。また日本に輸入される木材の2割～8割が違法伐採と推定されています。これらは持続可能なものとはいえません。いくらバイオマス利用が増えても非持続的なものでは意味がないのです。

わたしたちは、持続可能なバイオマスかどうかを区別し、多少値段が高くても選択的に購入・利用していくことが必要なのです。

真庭は日本でも数少ない成功例といえます。バイオマスツアーができるというのはすばらしいことです。バイオマスのエネルギー利用はお金になりにくいのですが、人を呼ぶきっかけになります。もうける部分は、付加価値の高い農産物やツーリズムに付加価値を付けてもうけるのが正しいのです。真庭はまさに地域発展を見据えた取り組みをしていると思います。

すべてのバイオマスが良いわけではありません。
持続可能なものを区別し、選択することが必要。

Zero Emissions Forum
ゼロエミッションフォーラム

泊 みゆき さん　演題:「持続可能な地域発展とバイオマス利用」

NPOバイオマス産業社会ネットワーク（BIN）理事長。日本大学大学院国際関係研究科修了。1999年、バイオマス資源の社会的・生態的に適正な利用促進を目的とする「バイオマス産業社会ネットワーク」を設立、共同代表に就任。

化石燃料に頼らないバイオマスタウンへ

竹林　このフォーラムは日本一のバイオマスタウンをこの真庭で実現するための、さらなるきっかけとしていただくというのが目的です。このフォーラムの意義としては環境問題、地球温暖化に焦点が当たります。地球温暖化が進み、真庭市においても台風による風倒木の処理費用に多大なお金がかかっています。これは現在の生活と産業のあり方から起きているかもしれません。

　化石燃料に頼らず、子孫がこれからもずっと生き続けるために、バイオマスを活用する。その手本が真庭だろうと考えています。地球のためにあなたができる最初の一歩は事実を知ること、次は行動へ、その行動を真庭で行っているわけです。

　第1課題は取り組みの現状をお願いします。

事例発表・基調講演を受けて、真庭のバイオマス事業の現状や課題をめぐり、より具体的な討議が進められました。内容をご覧ください。

（※パネリストの発言内容は紙面の都合により、内容を編集しています）

井手　8割が森林の真庭市。母なる旭川が貫き、そこに農林業・商工業が発展しています。とりわけ木材産業は発展し、「21世紀の真庭塾」の皆さんによる木材を利用したバイオマス活用の下地ができていました。そこに真庭市ができたのです。

　市長となり、バイオマスタウン構想を重点的施策として取り組んできました。早急にバイオマス利活用策定委員会を設置、計画づくりを推進し、昨年4月に県下一番乗りで国のバイオマスタウンの認定を受けました。同時にNEDO（独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構）の委託事業を受けることとなり、実証実験を進めています。さらに、木質エタノールをE3燃料として公用車で走行実験。バイオマスツアーを市観光協会と提携して実現しました。市民皆さんへ普及するための事業、ペレットストーブの設置の助成なども進めています。

末松　政府全体で進めていく取り組みとして、バイオマスニッポン総合戦略推進会議を立ち上げました。ですから真庭のバイオマスタウン認定は農林水産省だけでなく各関係省庁の認定をいただいているわけです。

　バイオマスの進め方としては食用自給率の低い日本で食料生産力は維持しながらも、非食用部分での可能性を研究開発しています。さまざまな技術が生まれていますが、その行き着く先がエタノールを作ることでなくてもよいのです。素材でも、別の燃料でもいいのです。日々技術が進化していく現在、バイオマス利活用に取り組む地域・民間の方々の取り組みを支援していくことが国のやることだと思っています。

渋澤　真庭の事例を聞いて自分たちの地域では無理だよと思われた方がいるかもしれません。この真庭でも最初はそうだったのです。地域づく

パネリスト

渋澤 寿一さん（しぶさわ じゅいち）
NPO法人樹木・環境ネットワーク協会　専務理事

　環境保全および地域づくり活動を全国各地で展開しており、真庭の森林バイオマスプロジェクトにおける中心人物の一人。

末松 広行さん（すえまつ ひろゆき）
農林水産省大臣官房
環境政策課長

　長崎県諫早市役所、水産庁、経済局、食糧庁などを歴任し、内閣総理大臣官邸内閣参事官（小泉内閣）を経て、2006年より現職。

井手 紘一郎（いで こういちろう）
真庭市長

　真庭市が推進する「真庭市バイオマスタウン構想」の策定を主導し、地域資源の活用とあわせた総合対策として全国の注目を集めている。

りは、ディテール（細部、詳細）の積み重ねです。真庭では長い時間をかけて議論したことを1997年に、13年後の2010年にはこうなっているという冊子にまとめられました。今読み返してみますと、驚くことに内容のほとんどを実現しているのです。真庭では、自分たちができることは何なのかを考え、細かい部分を積み重ね行動し、複雑な循環のシステムを作っています。

最終的な目的は真庭で子どもたちを育てたいということでしょう。今は負の財産である山林、この自然があることにより森林からエネルギー・食料が得られる、つまり財産に囲まれた地域なのだよと。これまで、少しずつ自然を利用する取り組みを積み上げて子孫に残していくということをやってきた地域なのです。高度成長期に子どもを都会へ送り出した山村のお年寄りの話に、「子どもが帰ってこない。なぜ、あのとき自信を持ってここで暮らせと言えなかったのか」と話される方に何人も出会いました。子どもたちに「都会へ行くな、真庭で暮らせばすばらしい未来が開ける」と言える未来を。真庭のシステムは素敵です、でも、それを動かすのは人なのです。どういう思いで、このシステムを築いたかを感じ取っていただければ幸いです。

長田　真庭地域のバイオマス資源を事業化し、付加価値を付けて山へ返そうと、多くの皆さんの出資により立ち上げたペレット事業。広く真庭の皆さんに利用していただくため、ペレットの名称は「真庭ペレット」と名付けました。行政の支援で、地域福祉センター「百楽苑」（草加部）にペレットボイラーを設置していただいたことが、全国へ展開するきっかけとなりました。公共施設でペレットを利用いただき、地域にもペレットストーブが普及してきました。おかげさまで真庭はペレット生産量が日本一となりました。

古林　自慢の温泉への集客は、温泉関係者が温泉自体のことを知ることが必要です。考えてみれば、温泉は環境そのもの、自然からの恵みでした。環境のために自分たちができる取り組みとして、天ぷら油のリサイクルを始めました。旅館と市民皆さんから集めた天ぷら油、約3万6千リットルから、バイオディーゼル燃料を製造し、旅館組合と燃料製造会社の自動車で利用しています。需要供給は現在うまくいき、環境の良い温泉地のイメージ戦略となっています。

消費拡大に生まれる問題点

竹林　事業を行っているお二人に、悩みや問題などをお願いします。

古林　現在、収集した天ぷら油は一般には供給されていません。国は、国の規格に適合したバイオディーゼル燃料を5％混合した軽油を一般に広めていくようです。その場合、製品の規格化が問題となり、現在の10倍以上の量を処理しなければ費用的にも厳しくなります。現在一部地区で行われている廃食用油回収容器の設置を拡大し、広域的な活動へ広げることが今後の課題となってきます。

長田　昨年はペレット約2千トンを販売しました。県内で5百トン、あとは全国へと流通しています。ぜひ、運賃の負担が少ない真庭市内で利用していただきたいのです。ただ、まだまだ燃焼機器が少ないのです。農業分野で利用いただくため、岡山の農業大学校で最新ボイラーの実証実験を開始しています。また、ペレットでなくとも木片チップをそのまま燃やせるボイラーの開発が進まないかとも思っています。

パネリスト

古林 伸美さん（こばやし のぶよし）
湯原町旅館協同組合理事長

温泉指南役を養成し、健康をテーマに魅力づくりを推進。さらに環境問題の第一歩としてバイオディーゼル事業を地域と行政の協力を得てスタートさせた。

長田 正之さん（おさだ まさゆき）
真庭バイオエネルギー㈱
取締役総務部長

中国銀行退職後、銘建工業㈱へ入社。真庭地域の木質資源を木質バイオマスエネルギーとして利活用推進を目指す。

コーディネーター

竹林 征雄さん（たけばやし まさお）
国際連合大学ゼロエミッションフォーラム運営委員

経済・農林・環境など国の各種審議会委員を歴任。環境インフラのシステム化による地域開発、ゼロエミッション業務に従事。

パネルディスカッションの様子

市民の理解度が地域発展のカギを握る

竹林　まちづくりにおける問題点は

渋澤　バイオマスという言葉は木質に限ったことでなく、自然の素材すべてなのです。化石燃料に頼った時代は終わり、太陽の光を使う時代にしなければならないのです。ただ、太陽光は一度植物（木・野菜・米など）に変えてやっと利用することができます。人間は植物に寄生しているようなものです。

　バイオマス産業というのは、地域の持っている風土を最大限利用し、どう循環させていくかという価値観づくりだと思うのです。地域、地域の自然の成長量の中で生きていけるという誇りとか目的を持てるように、市民皆さんの価値観を変化させていくというのが真庭の一番の課題なのではと思っています。

竹林　平成の大合併、広域行政における産業とまちづくりについて。

井手　9つの町村が1つの自治体となり、1つの共通の課題に取り組めることは、合併はエネルギーとなりました。このエネルギーで地域が動き出し、バイオマス利活用は急速に進展しています。しかし、山に残されている未利用の木材の活用、地域の資源によって作られた商品（産業）を市民皆さんが消費していくというシステムなどは、まだ弱いのです。市民の皆さんがバイオマスについて理解するという部分が大変遅れており、行政としての課題です。市民に理解が深まりバイオマス利活用が進めば、真庭市はかなり夢が広がるはずです。このフォーラムが大きな一歩となることと思います。

竹林　自治体や林業・農業従事者へ国の立場として手助けできること。

末松　バイオマス活用はある地域でうまくいっても、ほかの地域でうまくいくとは限りません。国が基準を決めるというのでなく、バイオマスタウン構想のように地域で取り組みをしていただくというのは正しいことだと思います。

　行政の関わりですが、真庭のように行政が熱心な地区は少ないのです。事業で困ったときには国、県の精通している方をうまく利用して事業を進めていただければと思います。行政は人がやっているわけです。人と人とのふれあいを大切にバイオマスタウンを発展していくことが必要です。

　また、農業分野でのバイオマス利用は農林水産業の新たな可能性として、事業を進めていくことを考えています。バイオディーゼル燃料については、供給する側に品質責任が生じるので、高い水準の規格がどうしても必要になります。

夢を抱いた人の活動が人を呼ぶきっかけに

竹林　真庭の人材、豊かな自然をどう生かし、これからはどうすればよいか、夢を含めてお話しください。

古林　今や県内でも一番の観光者数を誇る真庭市。観光やバイオマスにおける真庭ならではのイメージ戦略が必要です。これが環境という部分にもつながり、真庭が発展していけばと考えます。バイオマスツアーが始まり、湯原温泉へも多くの方が来られます。旅館でもペレットストーブの導入など、見せる部分でもお手伝いしたいと思います。

渋澤　バイオマスツアーが何を生み出すのでしょう。バイオマスは利活用していくシステムですが、システムが目的ではないのです。システム

真庭市内のバイオマス資源既存量と利活用状況　(2006. 3)

バイオマス資源	既存量(t/年)	炭素換算量(tc/年)	A重油換算(kℓ)	変換・処理方法	利用率(%)
廃棄物系バイオマス	281, 659	63, 440	85, 835		77. 0
家畜排泄物	123, 346	7, 360	9, 958	堆肥	81. 0
食品排泄物	8, 949	384	519	ＢＤＦ化、原料化	9. 5
木質系廃材	122, 844	54, 088	73, 182	ペレット化、チップ化、燃焼	77. 6
紙くず・古紙	3, 811	1, 354	1, 832	原材料化	46. 8
浄化槽など汚泥	22, 498	173	234	堆肥	100. 0
下水汚泥	211	81	110	堆肥	100. 0
未利用バイオマス	75, 896	14, 355	19, 422		28. 4
稲わら	15, 689	4, 492	6, 077	堆肥	79. 7
もみ殻	2, 461	705	953	堆肥	71. 0
未利用木材	57, 098	8, 873	12, 005	なし	0. 0
剪定枝	649	286	386	なし	0. 0

※炭素換算量とは、排出される二酸化炭素の中に含まれる炭素の重量

に関わって地域の人々が夢を見い出し活動する、それがおもしろいからと全国から人々が訪れるような真庭。これがわたしの夢なのです。地産地消を含むさまざまな活動が生まれ、バイオマスに付随して人間関係ができ、それをよその人に見てもらえる真庭になればと思います。

長田　ハウスの農産物は重油などで加温しているので、商品価格の多くを燃料代が占めます。加温の部分をバイオマスボイラーで利用した場合、二酸化炭素排出量を削減できます。重油を使ったもの、バイオマスを活用したもの、どちらも同じ値段でいいのでしょうか。二酸化炭素を削減した分、少し高い値段で販売し、消費者は環境に良いものを選んで商品を購入していただく。環境という付加価値をお金という形で循環できる社会になることを願っています。

末松　化石燃料で豊かになった生活は隠れている負担（環境悪化など）があります。地域でバイオマスを利活用する社会をつくることは世界のためにもなります。今はまだ、バイオマスの取り組みに対して有利な税制をつけるのは難しいかもしれません。エネルギー変換に当たり、まず、真庭での取り組みが成功例として全国に広がれば、国を動かす一番の力となるのではと思います。

井手　日本は資源が少ない国、ところが決してそうではありません。真庭には無尽蔵ともいえる資源があり、産業や豊かさに結びつけていくことができます。また、バイオマスの取り組みを環境保全、環境教育と生かし、地球温暖化防止に貢献することもできます。バイオマスの先進地・環境にやさしい真庭市ということになれば、地元に愛着や誇りを感じ、若者が戻って来るなど、さまざまなところへバイオマスが波及することも考えられます。そうなれば、わたしの掲げる「賑わいと安らぎの杜の都 真庭」を実現できる日がきっとやって来る、これを夢にわたしも頑張っていきます。

未来の子孫のために叡智を持って、今行動へ

竹林　真庭は自然という財産、恵まれた人材の宝庫であると。森林は太陽の恵みです。太陽があれば、ずっとこの地は宝の山だと考えられます。温泉は自然の恵み、まさに環境そのものという意見も出ました。環境問題をよく知り、真庭の良い点を認識することが大切です。バイオマスツアーは日本でも珍しい事例、誇りを持ってください。地下資源は使えばなくなります。会うことのない子孫のために、今、勇気を、叡智を持って、小さな行動の第1歩を踏み出しましょう。ありがとうございました。

台風による風倒木を処理する様子。市内の山林には風倒木も含めてバイオマス未利用木材が約57,000㌧。早急な有効活用が求められています（写真左）。酪農によるふん尿もバイオマス資源。畜産・農業分野へつながり、商品開発へと発展すればバイオマスツアーの新たな可能性が見い出せます（写真右）。

高校生によるバイオマス関連企業（バイオディーゼル製造）の見学の様子。バイオマス利活用を推進するため、各地で「タウンミーティング」を開催してきました。これからも児童・生徒、市民団体などさまざまな分野の方への普及啓発を進めていきます。

真庭市のホームページから「バイオマスタウン真庭」のウェブサイトをご覧になれます。
http://www.city.maniwa.lg.jp/html/biomass/
バイオマスに関するご質問、問い合わせなどは産業部商工振興課バイオマス推進室（TEL0867-42-5022）までご連絡ください。

4月2日スタート

新たな公共交通サービスがスタートします

市民生活部　市民課　公共交通対策推進室（久世庁舎内）　TEL0867(42)1112

真庭市では公平で便利な交通手段の確保を目指して、これまで旧町村エリアで異なっていた公共交通サービスを一律化した体系で新たにスタートします。4月2日から、バスなどの運行をより身近で利用しやすいサービスへと変えていきます。

事業名称の統一

真庭市が旧町村から引き継ぎ、市民の"足"を確保するため運行していた公共交通サービスには、過疎バス、へき地患者輸送車、高齢者福祉バス、医療バス、福祉巡回タクシーなど、さまざまな名称で運行していました。このため事業名称と内容を見直し、市内一律化に向けたサービスでスタートします。

○統一した新しい事業名称
「まにわコミュニティバス運行事業」

※今後、市民皆さんにとって親しみがあり利用しやすい交通手段とするため、愛称募集なども行っていきます。

運行区間なら誰でも乗車が可能に

これまでの公共交通サービスでは、利用にあたっては、年齢制限があるなどの乗車規制がありました。このため、乗車規制をなくし、だれでも利用できるようにします。

運賃を統一します

それぞれのエリアで運行されているサービスには、乗車料金が無料や距離によって異なるなど料金体系に差違がありました。このため、運行料金を次のとおり統一します。

○料金…路線ごとの片道区間
・大人（中学生以上）２００円
・小学生…１００円
・未就学児は無料。

※ただし、小・中学生が通学のために利用する場合は無料です。

路線の新設と拡大・運行時刻の変更

これまで公共交通サービスのなかった地区へ向けた路線の新設・延長を行います。落合地区では路線を新設。北房地区では路線を延長します。また、運行時間などの見直しも図っていきます。各地区ごとのサービスの内容変更については左の図でご確認ください。

久世で運行中のバス。高齢者の交通手段として欠かせないものになっています

定期的な改善を行います

各種団体の皆さんとの連携と、利用者の声を聞きながら運行内容については定期的に見直しを行います。

地域実情に応じ車両を使用します

車両は、市が所有するマイクロバスや、ワンボックス車（10人乗り）などを使用し、路線幅員などの地域実情を考慮して運行します。

詳細は各支局から配布される運行表で確認を

運行経路や改善された運行時刻表などは、各支局から地域ごとに、それぞれの対象地域の皆さんに配布します。詳しくは各支局の市民福祉課へお問い合わせください。

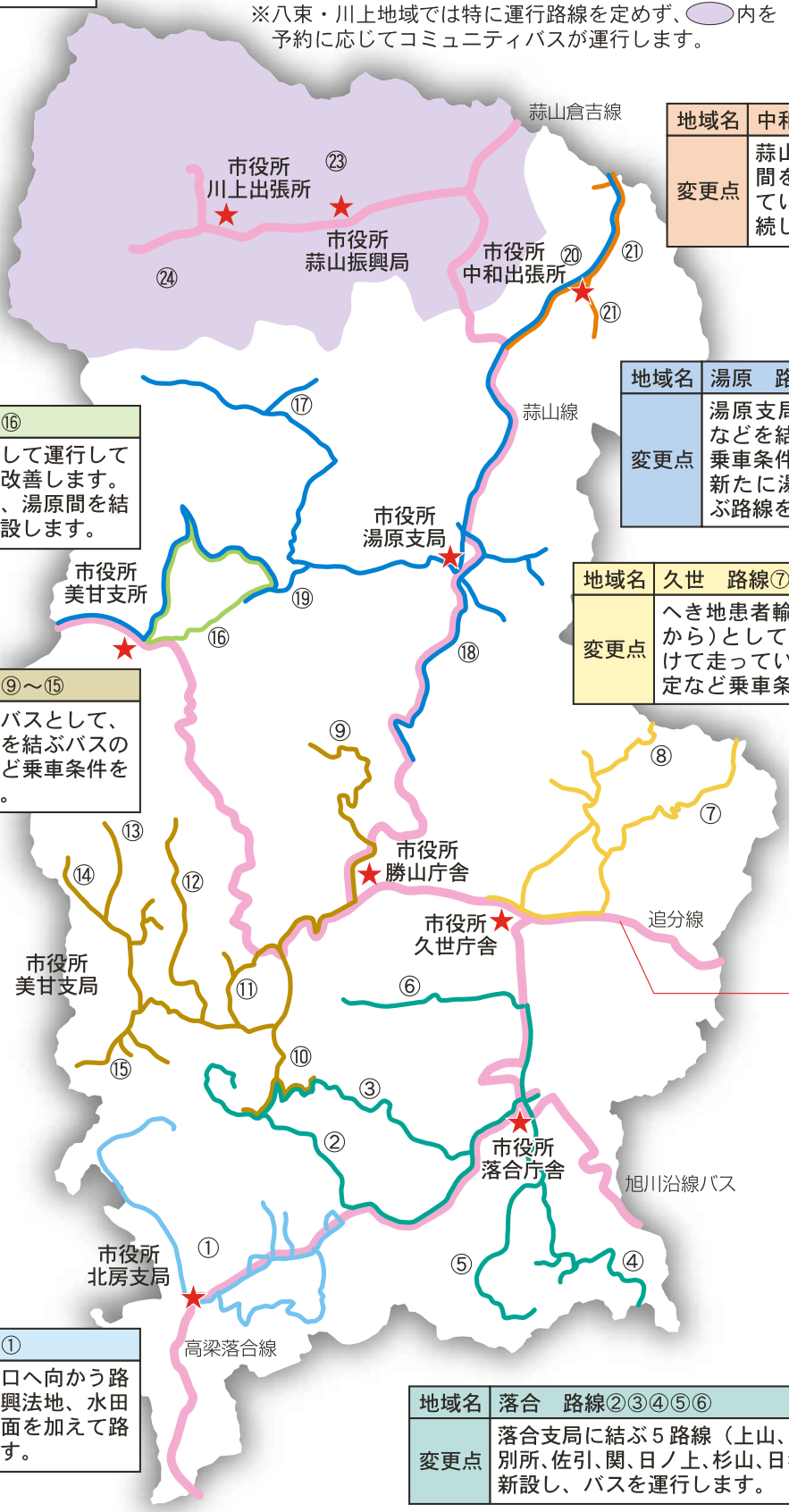
美甘で運行中のバス。
一般利用・児童スクールバスとして併用しています

市内に広がる公共交通網

地域名	川上　路線㉔
変更点	福祉巡回タクシーをコミュニティバスとして運行します。

地域名	八束　路線㉓
変更点	エリア内で巡回型コミュニティバスを運行します。

※八束・川上地域では特に運行路線を定めず、◯内を予約に応じてコミュニティバスが運行します。



地域名	中和　路線⑳～㉑
変更点	蒜山下和～蒜山別所間をピストン運行しているバス路線を継続します。

地域名	湯原　路線⑰～⑳
変更点	湯原支局・湯原温泉病院などを結ぶ路線を改善し、乗車条件をなくします。新たに湯原、美甘間を結ぶ路線を新設します。

地域名	美甘　路線⑯
変更点	市営バスとして運行していた時刻を改善します。新たに美甘、湯原間を結ぶ路線を新設します。

地域名	久世　路線⑦⑧
変更点	へき地患者輸送車（余野・樫西から）として久世市街地へ向けて走っていたバスの年齢設定など乗車条件をなくします。

地域名	勝山　路線⑨～⑮
変更点	高齢者福祉バスとして、星山や富原を結ぶバスの年齢制限など乗車条件をなくします。

※桃色の路線は、民間路線バスや共同バス（さくらバス）が運行する路線です。市街地間や地域間の広域移動には、これら民間公共交通サービスをご利用ください。

地域名	北房　路線①
変更点	今までの阿口へ向かう路線に井尾、興法地、水田境、井殿方面を加えて路線延長します。

地域名	落合　路線②③④⑤⑥
変更点	落合支局に結ぶ５路線（上山、吉、別所、佐引、関、日ノ上、杉山、日名）を新設し、バスを運行します。

白梅塾（仮称）開設にあたり
指導員・協力ボランティアを募集します

教育委員会 学校教育課（落合庁舎内） TEL0867(52)1181

白梅塾（仮称）とは

真庭市教育委員会では、学校に適応しにくい児童・生徒や、不登校児童生徒が、学校や社会生活に適応する力を高めるための教育支援センター「白梅塾（仮称）」を、休校になった木山小学校日野上分校校舎を活用して開設します。

白梅塾での指導内容

白梅塾では、3名の指導員が保護者や児童生徒が在籍する学校との連携を図りながら、児童生徒の教育相談や個々の状況に応じた指導を行っていきます。また、白梅塾では、山々に囲まれ閑静な日野上地区の地域性を生かした体験活動も計画していきます。

白梅塾開設時間と対象者

開設時間

月曜日から金曜日（年末年始などを除く）午前9時～午後3時まで。

通塾

原則として、児童生徒が自分で行うか保護者の送迎が必要となります。

指導員と協力ボランティア募集

真庭市教育委員会では、白梅塾で児童生徒の指導にあたっていただく、意欲を持つ指導員と指導協力員（ボランティア）を募集します。

○指導員（募集人員：3名）

※真庭市教育委員会規則による報酬を支払います。

○指導協力員（募集人員：若干名）

※ボランティアとしてご協力いただける方を募集します。

○応募資格：学校教育に理解があり、子どもの悩みについて相談に応じることの出来る知識や経験を有する方

○募集期間：当面の間

※詳しくは、真庭市教育委員会学校教育課までお問い合わせください。

今年3月に休校した日野上分校校舎を活用します

真庭市『国民保護計画』を策定しました

総務部 総務課危機管理室 TEL0867-44-2611

国民保護計画とは

「武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律＝国民保護法」などに基づいて自治体が作成するものです。

万一の大規模テロ（緊急事態）や有事（武力攻撃などの事態）が発生した場合に、国民の生命、身体、財産を保護し、国民生活や経済に及ぼす影響が最小となるように市、関係機関の役割などを定めています。

※計画内容の公表
真庭市ホームページ上で公開しています。

1 想定している武力攻撃事態

着上陸侵攻、ゲリラや特殊部隊による攻撃、弾道ミサイル攻撃、航空攻撃。

2 想定している緊急対処事態

大規模集客施設の爆破、サリンなど化学剤の大量散布、航空機などによる多数の死傷者をともなう自爆テロなど。

3 国民保護計画の3本柱

①住民避難：国からの警報発令が県から市へ通知されると、市長は警報内容を音声告知などの放送をなどで住民に知らせます。国からの避難指示が県を通しあった場合には、避難実施要領を策定して、直ちに住民および関係のある公私団体に伝達します。また、消防機関などを指揮して住民の避難誘導を行います。

②救援：市長は救援を必要としている避難住民などに対し関係機関の協力を得て救援を実施します。

○食品、飲料水および生活必需品の提供または貸出
○被災者の捜索および救出
○武力攻撃を受けた住宅の応急修理　○学用品の提供など

③武力攻撃への対処

○生活関連施設（ダムなど）の安全確保と警備の強化、立入制限
○警戒区域を設定し、区域内の立入制限および退去命令
○消火救急および救助活動など

狂犬病予防注射

市民生活部　環境課　TEL 0867(42)1113

4月日程

飼い主の皆さんへ

生後91日以上の犬には、年に1回接種が必要です。予防接種の日程をお知らせしますので、お近くの会場へお越しください。

動物病院などで接種した場合は、獣医さんが発行した狂犬病予防注射済証を持参して、市役所窓口で注射済票の交付を必ず受けてください。

予防注射にかかる費用

- 登録してある犬は2,800円
- 登録のない犬（登録手数料込み）は5,800円

※4月12日以前の日程は3月号で掲載しています。

狂犬病予防注射日程表（4/13～23日）

4/13(金)	**落合地区**	
	①9:30～9:45	大庭集会所
	②10:00～10:30	古見ふれあいの館
	③10:45～11:00	中田原公会堂
	④11:20～11:45	西原縦貫道ボックス
	⑤13:50～14:00	杉山公会堂
	⑥14:40～15:20	天津小学校
16(月)	①9:30～10:00	JA上河内支所
	②10:20～10:50	中河内コミュニティハウス
	③11:10～11:40	下河内コミュニティハウス
	④13:20～14:20	落合庁舎
17(火)	**久世地区**	
	①9:20～9:50	余野・政保商店駐車場
	②10:00～10:20	樫東生活改善センター
	③10:30～11:00	目木勤労者研修センター
	④11:10～11:20	大内原公民館
	⑤11:30～11:50	西口公民館
	⑥13:30～13:50	五反公民館
	⑦14:00～14:20	大宮コミュニティハウス
	⑧14:30～14:50	多田公民館
18(水)	①9:30～9:45	鍋谷公民館横
	②10:00～10:15	樫西コミュニティハウス
	③10:30～10:45	三坂消防器庫
	④11:00～11:20	北町コミュニティハウス
	⑤11:30～11:50	中島公民館
	⑥13:00～14:00	久世公民館
19(木)	**久世・勝山地区**	
	①9:00～9:20	富尾公民館
	②9:30～10:00	真庭消防署
	③10:10～10:40	上町早川町公民館
	④10:50～11:10	黒尾公民館
	⑤11:20～11:50	草加部教育集会所
	⑥13:00～13:40	真庭市立勝山図書館
	⑦13:50～14:10	真庭保健所
	⑧14:20～14:50	勝山スポーツセンター
20(金)	**勝山地区**	
	①9:30～9:50	後谷中集会所
	②10:10～10:30	下岩・戸田茂氏宅前
	③10:50～11:20	富原基幹集落センター
	④11:40～12:00	家元集会所
	⑤12:05～12:15	皇子東バス停前
	⑥13:15～14:00	月田公民館
	⑦14:30～14:50	荒田・後谷畝コミュニティハウス
	⑧15:05～15:15	上江川勝山鉄工所前
23(月)	①9:30～9:45	見尾公会堂
	②9:50～10:00	下真賀バス停前
	③10:10～10:30	山久世コミュニティハウス
	④10:40～11:00	柴原公会堂
	⑤11:10～11:30	横部三協商建前
	⑥13:00～13:20	勝山公民館神代分館
	⑦13:35～13:40	寺河内集会所
	⑧14:00～14:30	勝山庁舎

狂犬病予防注射日程表（4/24～27日）

24(火)	**八束地区**	
	①10:00～10:20	八束ふるさとふれあい特産館
	②10:30～10:50	岡中曽公会堂
	③11:00～11:30	西原コミュニティハウス
	④11:40～12:00	花園コミュニティハウス
	⑤13:00～14:00	蒜山振興局八束庁舎
	⑥14:10～14:40	八束コミュニティセンター
	⑦14:50～15:20	専売所跡地
25(水)	**湯原地区**	
	①9:30～9:45	藤森神社
	②9:55～10:10	二川出張所
	③10:20～10:30	三野瀬集会所
	④10:40～10:50	種神社下トマト集荷場
	⑤11:05～11:20	見明戸コミュニティハウス
	⑥11:30～11:40	豊栄公民館
	⑦13:00～13:20	都喜足公民館
	⑧13:40～14:00	（旧）久見家畜市場
	⑨14:20～15:00	湯原支局
26(木)	**美甘地区**	
	①9:30～9:50	湯谷消防器庫
	②10:00～10:30	美甘支局
	③10:40～10:50	黒田コミュニティハウス
	④11:00～11:15	鉄山コミュニティハウス
	⑤11:30～11:40	平島コミュニティハウス
	⑥11:50～12:10	真庭消防署美新分署前
27(金)	**中和・川上地区**	
	①9:30～9:50	別所公民館
	②10:00～10:20	吉田公民館
	③10:30～11:00	中和出張所（旧中和支局）
	④12:30～13:00	間谷公会堂
	⑤13:10～13:30	才東集会所
	⑥13:40～14:00	大蛇教育集会所
	⑦14:10～14:30	徳田集会所
	⑧14:40～14:55	白髪公会堂
	⑨15:15～15:55	川上出張所（旧川上支局）

AED

エーイーディー

自動体外式除細動器 市内各所に設置しています

健康福祉部　子育て健康推進課　TEL 0867(52)1115

真庭市では、心臓停止など緊急時の対応のため市内公共施設などにAED（自動体外式除細動器）の設置を続けています。身近なAEDの設置場所を確認して万が一のときには、利用してください。

ボックスに収められているAED

AEDとは

自動体外式除細動器とは、急な心臓停止状態のときに起こる、心臓の細かな痙攣（けいれん）に電気ショックを与えて取り除くことで、救命率を高める機器です。心臓停止になると、4分以内に脳の障害が発生する可能性があります。一刻も早い人工呼吸や心臓マッサージとAEDで、心臓に電気ショックを与えることが必要になります。平成16年7月から救急救命士以外の一般者でもAEDの利用が認められています。

市内AED設置施設

病院・診療所
●谷田医院
●湯原温泉病院
●勝山病院
●米田内科医院
●宮島医院
●中井医院
●イケヤ医院
●まにわ整形外科クリニック
●金田病院
●落合病院

高等学校	
●蒜山高校校舎	●勝山高校校舎
●久世高校校舎	●落合高校校舎
市施設	
●蒜山振興局庁舎	●川上出張所
●湯原支局庁舎	●美甘支局庁舎
●勝山保健福祉センター	
●久世保健福祉会館	●中和出張所
●落合庁舎	●北房支局庁舎
消防署	
●真庭消防署本署	●蒜山分署
●湯原分署	●北房分署
●美新分署	
岡山県施設	
●美作県民局真庭支局	●真庭保健所

※AEDには外観の異なるさまざまなタイプがあります。地域や団体などで真庭消防署に申し込めば、使用方法について受講することができます。

■選挙区の変更

旧北房町の区域が真庭市・真庭郡選挙区（定数1）として同一の選挙区となりました。

■投票のできる人

昭和62年4月9日以前に生まれ、平成18年12月29日以前から引き続き真庭市に住所が有り、3月29日現在、引き続いて住民基本台帳に登録されている人です。有権者には、告示日（3月30日）に投票所入場券を発送しています。定められた投票所で投票してください。

投票日に投票所に行けない有権者は期日前投票に行きましょう

■期日前投票は4月7日㈯まで

投票日に投票することができない方は、期日前投票を行うことができます。

期日前投票は4月7日まで、住所地のある市役所の振興局・支局・出張所（旧中和支局、旧川上支局）・各庁舎で行っています。投票所入場券を持ってお越しください。印鑑は不要です。

●期日前投票時間　8:30～20:00

問い合わせ先　真庭市選挙管理委員会事務局　TEL 0867-44-2611

障害を持つ方の社会参加を応援するために
新しい支援事業を提供します
授産施設・小規模作業所通所奨励金と地域生活支援事業

健康福祉部　福祉課（落合庁舎内）　TEL0867(52)1112

真庭市では、心身および精神に障害のある方の社会参加を支援するために4月から、2つのサービスを提供します。対象となる方とサービス内容は次のとおりです。

①授産施設・小規模作業所通所奨励金

在宅の心身障害者（児）と精神障害者で授産施設および小規模作業所などに通所される方に対して、奨励金を支給します。各施設および作業所を通してのご案内となりますので、ご利用ください。

対象者

・真庭市が障害福祉サービス受給者証を交付し授産施設に通所している方

・真庭市に住所を有し、小規模通所授産施設、小規模作業所に通所される方

奨励金の額

通所する実日数に200円を乗じた金額で、月額の上限は4、000円です。

※奨励金の請求は、通所している授産施設および小規模作業所の証明が必要です。毎月の通所日数の証明書を請求書につけて翌月10日までに市役所各福祉窓口に提出すれば、請求月の月末までに支給となります。

②地域生活支援事業・移動介助事業

市独自の事業として、屋外で移動が困難な障害者（児）に対して、移動を介助する介助員を派遣するサービスを提供します。

対象者

外出のときに家族などの支援を受けることができないと認められ、真庭市に住所を有する在宅障害者で次に該当する方

・身体障害者手帳1級または2級所持者で下肢障害、体幹障害、移動機能障害、視覚障害、聴覚障害のある方

・療育手帳所持者

・精神障害者保健福祉手帳所持者

※対象者で障害者自立支援法に規定された重度訪問介護、行動援護、重度障害者等包括支援と併せた利用はできません。

移動介助負担金の区別

個別移動介助事業の区分	利用時間	利用者負担額
身体介護あり	最初から1時間まで	380円
	1時間を超える利用時間については30分あたり	80円
身体介護なし	最初から1時間まで	150円
	1時間を超える利用時間については30分あたり	75円

4月8日(日)
岡山県議会議員選挙の投票日です

●投票時間

7:00～18:00

※投票日の投票終了時刻は、市内すべての投票所とも午後6時です。お間違えのないようお願いします。

ラストワンマイル事業サービス開始後の

お問い合わせ 直通電話はこちらです

企画観光部　情報推進課　TEL0867-44-2646

真庭ひかりネットワーク

市のラストワンマイル事業「真庭ひかりネットワーク」の整備が進み、光ファイバ敷設が整った蒜山・湯原・美甘・勝山の一部（月田・富原地区）ではサービスの一部が始まりました。サービス開始後のお問い合わせ窓口をご案内します。

加入申し込みを済ませて利用を始めていますか?

はい　利用を始めています

どのサービスを利用していますか

●こちらも合わせて申し込みました

WWW ワールド・ワイド・ウェブ

光インターネットサービス

全国どこへかけても3分間8.4円のひかり電話サービス

故障かな？

NTT西日本岡山支店
IPカスタマーサポート担当

電話
0120-248995
24時間365日対応

●音声告知器
●市内通話無料のIP電話

真庭市内のみのサービス

音声告知器

市内通話無料のIP電話

故障かな？

NTT西日本岡山支店
行政サービス受付担当

電話
0800-200-8810
月曜日～金曜日の9:00～17:00

いいえ　まだ利用は始めていません

？ 申し込みをしようと思うが、利用申し込み、サービス内容がよく分からない

NTT西日本岡山支店
ひかりネットワーク担当

電話
0800-200-0284
9:00～19:00 土日祝日も受付
（年末年始は除く）
※平成20年12月まで

もしくは

市役所　情報推進課

電話
0867-44-2646

※　　枠内が申し込みを終了して使用が始まった方のお問い合わせ先です

ホームページ上の画面

市内観光ポイントなどを見る

ライブカメラ設置場所追加しました

真庭市ホームページからは市内観光ポイントの様子や道路状況などを見ることができるライブカメラを設置しています。4月からカメラ設置場所を追加しました。お天気の様子や桜の開花状況などを見ることができます。ご利用ください。

12のライブカメラの映像（　）内は設置場所

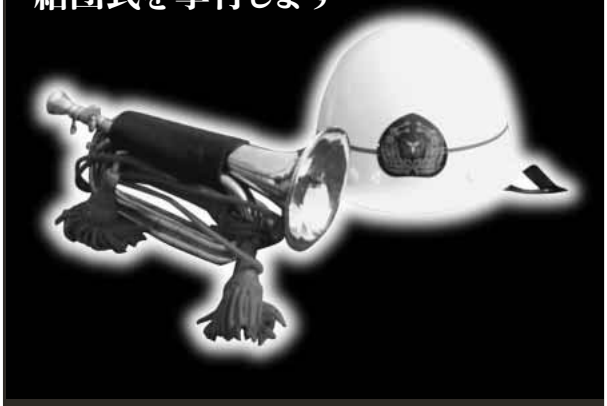
国道313号（湯原温泉観光看板上）	湯原温泉街（湯原ふれあい交流センター）
国道181号（美甘支局）	蒜山三座（ひるぜんジャージーランド）
米子自動車道（ひるぜんベアバレースキー場）	放牧風景（蒜山ウッドパオ）
醍醐桜（醍醐桜休憩所）	落合大橋（落合庁舎）
美甘宿場桜（美甘コミュニティハウス）	北房コスモス広場（特産品ふれあいセンター）
茅部神社の桜並木（天の岩戸天望塔）	北房ダムの桜（ダム管理棟）

真庭市消防団 結団式・初出式

平成19年4月15日(日)
午前9時30分開会

会場 白梅総合体育館

岡山県下2番目約2,800人の
団員を有する消防団の
結団式を挙行します



第2回 真庭圏域 消防操法訓練大会

平成19年4月29日(日)
午前9時30分開会
会場 蒜山高原スポーツ公園

ラストワンマイル事業 加入説明会日程

企画観光部 情報推進課(勝山庁舎内) TEL 0867-44-2646

4月は、落合の木山・津田地区を対象に説明会を開催します。テレビ、電話、インターネットといった現在の生活に大きく関わる事業です。下記の日程の説明会に、お越しいただきますようお願いします。

落合地区 開催時間は特別に記しているもの以外は19:30～です。

日	対象地区	開催場所
4/10(火)	中倉上・中倉下・美里(13:30～)	中倉公会堂
	中河内・旦芝・美袖	日野上公民館
11(水)	大谷小宗・八栗(19:00～)	大谷小宗集会所
12(木)	登呂・柳・赤谷	日野上公民館
	木山	木山寺
	深町	深町公会堂
13(金)	越谷・東坂元・西坂元	坂元公会堂
	上口・上口中	上口中集会所
	上町1・上町2	鹿田公民館
16(月)	中町・下町1・下町2	鹿田公民館
	門前	門前ふれあい会館
	平・穴田上	平公会堂
17(火)	陽堂1・陽堂2・竹谷	鹿田公民館
	須の内・須の内上	須の内上集会所
18(水)	郡	郡部落多目的共同利用施設
19(木)	井手伊倉	井手伊倉集会所
	上畝1・上畝2・上畝3・下畝	畝公会堂
	簗瀬上1・簗瀬上2	上簗瀬ふれあいの館
20(金)	下紙屋	下紙屋公会堂
	横部上・横部下	横部ふれあい会館
23(月)	サニー団地・中山団地	落合公民館
	簗瀬下1・簗瀬下2・簗瀬下3	下方公民館
	下方中1組・2組(19:00～)	ヤナセ
24(火)	中郷南・中郷北	上山コミュニティ
	嬉石・天間尾・今日・国安・安友・小谷	太田集会所
25(水)	林(18:00～)	林部落多目的共同施設
26(木)	寺家大竹・大竹・寺家	上山コミュニティ
	野呂	野呂公会堂
	北野・笠場	北野多目的集会所
27(金)	空の畑・川平・鰻田	上山コミュニティ
	大王	大王集会所
	高の巣	高の巣多目的集会所
5/8(火)	真賀	真賀多目的生活共同組合
	胡麻田1班・胡麻田2班	胡麻田集会所

お知らせワイド information版

お問い合わせは各担当部局へ

機構改革

4月から市役所の組織が一部変更になりました

昨年、真庭市では合併効果を図るため行政組織の大きな改革を実施しました。今年度は、蒜山振興局新庁舎の開庁を12月に予定。また、本庁舎建設計画策定にも取り組んでいきます。真庭市では、さらに合併効果を発揮できる行政組織とするため、4月から組織の一部再編成を行いました。改革の要点をお知らせします。

1 地方自治法の改正で助役に代わり副市長を設置し収入役は廃止

真庭市副市長
高田 浩一 氏

真庭市副市長
藤原 一夫 氏

昨年公布された「地方自治法の一部を改正する法律」で、「市町村の助役にかえて副市町村長を置くこと」、また「収入役を廃止し会計管理者を置くこと」とされました。この法律に基づき、真庭市では副市長に高田浩一氏（前助役・法律に基づき移行）、同じく副市長に藤原一夫氏（前収入役・議会同意を得て承認）を選任しました。

廃止となった収入役に代わっては会計管理者を設置。市では職員の部長級を会計管理者に配置し、真庭市会計の管理にあたることになりました。

また、合併後の約2年間、真庭市助役として市長の補佐を努めた安永知昭氏は3月31日付けをもって退任（岡山県へ復職）となりました。

真庭市助役　安永知昭 氏
※3月31日付けで退任し
岡山県へ復職

※市職員の人事異動は5月号でお知らせします。

2 蒜山振興局管轄の組織機構は次のようになりました

蒜山振興局新庁舎は、今年12月の開庁を目指して工事が進んでいます。中和・八束・川上地区を管轄区域とする庁舎建設に合わせて、次のようになりました。

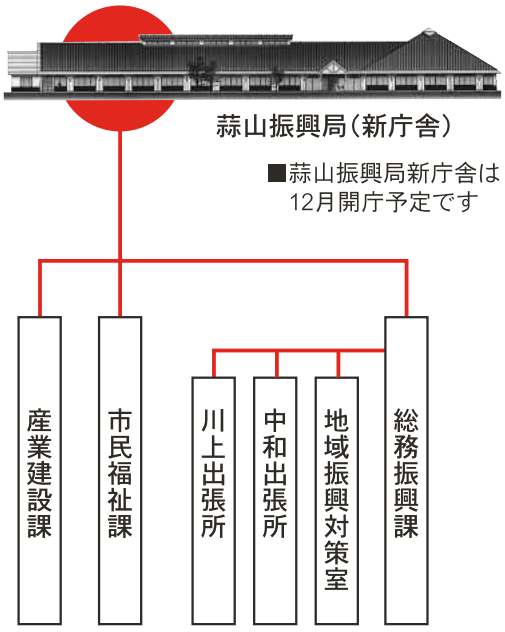
①課の配置

蒜山振興局には、総務振興課、市民福祉課、産業建設課を置きます。

また、蒜山地域にある第3セクターなどの地域振興施設の経営改善やあり方などについて、本庁部門と連携を図るため、総務振興課内に「地域振興対策室（3年間設置）」を置きます。

②中和・川上支局は出張所に移行

中和・川上の両支局は、蒜山地域を統括する新・蒜山振興局庁舎建設（今年12月開庁予定）に伴い出張所に移行、受付窓口機能のみを残します。



3 本庁・各支局の見直し 一部課の名称変更・公共交通対策室の設置

①課の名称変更

市役所本庁舎機能部分では、一部課の名称を変更しました。企画観光部「杜市づくり推進課」は「企画政策課」に、建設部「開発調整課」は「都市住宅課」に、蒜山振興局を除く各支局の「業務管理課」を「産業建設課」にそれぞれ改めました。

②公共交通対策部門の設置

真庭市の公共交通システムの円滑な実施に向けて「公共交通対策室」を市民生活部市民課の中に置きます。

③国土調査業務は本庁業務へ移行

現在、市内で国土調査業務は、落合・勝山・美甘・中和・湯原・川上地区で進められています。この業務を本庁＝建設部都市住宅課（ただし、中和・川上地区は蒜山振興局）業務とし、早い事業推進効果を図ることとしました。

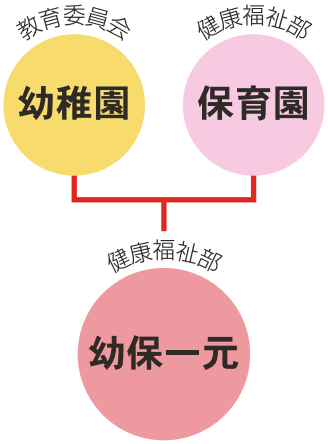
④支局長は市民福祉課長を兼務

各支局の支局長は、これまで支局の総務部門である総務振興課長を兼務していましたが、より市民生活に近い市民福祉課の課長を兼務することになりました。

4 幼稚園保育園の一元化に向けて 幼稚園を教育委員会から市長部局へ移行

①幼稚園・保育園の一元化

市内には教育委員会が所管する15の幼稚園（1幼児園含む）が設置されています。また一方では市長部局（健康福祉部）が所管する20の保育園を設置しています。子育てと幼児保育の視点から統合的に業務を進めるため、教育委員会が所管する業務を市長部局の健康福祉部・子育て健康推進課へと移します。



名称を変えた課

旧	企画観光部 杜市づくり推進課（勝山庁舎内）	新 企画観光部 企画政策課（勝山庁舎内）
旧	建設部 開発調整課（勝山庁舎内）	新 建設部 都市住宅課（久世第4庁舎内）
旧	各支局 業務管理課	新 各支局 産業建設課

※電話番号は、これまでの番号を引き継ぎますので変更はありません

◎国土調査は支局から都市住宅課

国土調査 → 建設部 **都市住宅課**（旧名称　開発調整課）（久世第4庁舎内）

電話番号 0867-42-7781

◎公共交通対策室は市民課内に

市民生活部 **市　民　課** ― **公共交通対策室**（久世庁舎内）

電話番号 0867-42-1112

■公共交通対策は、市内で運行する真庭市コミュニティバス（旧名称　過疎バス、福祉バス、医療バスなど）事業の円滑な運行を推進するための部署です。（今月号P10、11参照）。

市政Topics トピックス

4月から市役所の組織が一部変更になりました

北房中学校正面玄関前（左が完成した屋内運動場）

北房中学校に新しい屋内運動場完成

今年度、改築工事をを進めていた北房中学校の新しい屋内運動場が完成し、昨年完成した校舎と合わせた「北房中学校新改築落成記念式典」が3月15日に催されました。

総工費2億7、008万7千円（設計費含む）の新しい屋内運動場は、延べ面積が1、226平方メートルの鉄骨・鉄筋コンクリートの一部2階建て構造。アリーナは、バスケットコート2面分、2階部分には卓球台3台を並べる広さがあります。内部は、昨年完成した校舎と同じく、壁面などに間伐材をふんだんに利用しており、木目を照らす外光が柔らかく明るい印象を与えています。このほか、一角には和室も備えた会議室が設けられており、屋内運動場は学校教育の場としてだけでなく地域の生涯学習活動などの場としても活用いただけます。

明るく広い体育館内部

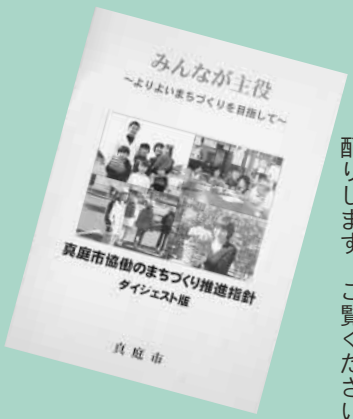
3月15日の落成式の様子

フォーラム 協働のまちづくり

3月11日、「真庭市協働のまちづくりフォーラム」が勝山文化センターで開催されました。地域自主組織やボランティア活動をしている市民120名が参加し、これからの地域づくりのあり方や、地域課題の集約方法などを学びました。

作業を通して地域課題の集約方法を学びました

協働の事例や推進5本柱を示した「真庭市協働のまちづくり推進指針 ダイジェスト版」をお配りします。ご覧ください。



フォーラムでは、奈良市で伝統的町家を修復し、まちづくり活動に取り組んできた、ローカルガバナンス研究所所長、木原勝彬さんが講演。ご自身の20年以上にわたるまちづくり活動に加え、住民による地域づくりの進め方、協働によるまちづくりの可能性を全国の活動事例を紹介しながら話されました。

続いて、市が作成した地域づくり番組「地域自主組織ってなあに？」を視聴し、地域自主組織の認識を新たにしました。番組では月田コミュニティ協議会の活動を題材として取り上げ、人口減少、高齢化が進む地域で、自主的な組織づくりの必要性を投げかけました。

最後は、参加者が地域での課題を解決へと結びつけるためのワークショップを実施。参加者はテーブルごとに分かれて、地域課題を発見、集約し、どのように共通見解を持つことができるか、作業を通して学んでいました。

また、市では市民に協働のまちづくりを理解し、共に地域づくりに取り組んでいただこうと「協働のまちづくり推進指針ダイジェスト版」を作成しました。協働のまちづくりにご協力お願いします。

動き

市政に関する動きの一部を紹介します

対向車感知情報板を設置

県道・中福田湯原線にある湯原第２トンネル（湯原温泉）に、１月24日、県北初の対向車感知情報板が設置されました。すれ違いが困難なトンネル反対側から来る、自動車の接近を知らせます。

リユースプラザ醍醐の里オープン

3月3日、醍醐の里敷地内（鹿田）に公設・市民運営施設「リユースプラザ醍醐の里」がオープンしました。施設では、身近な不用品を再利用し、環境保全とごみ減量化の取り組みを進めます。

日野上分校、116年の歴史に幕

３月６日、木山小学校日野上分校の休校式が行われ、児童や地区住民約30人が学舎に別れを告げました。式では、児童らが分校の生活や歴史を発表し、最後に「分校の歌」を元気に歌いました。

ブックスタートの勉強会開催

真庭市では、絵本を通して親子の絆を高めようとする取り組み、「ブックスタート」を導入します。3月14日、間を取り持っていただく市愛育委員の皆さんに向けた研修会が開催されました。

「広報まにわ」２年連続県1位

岡山県内の市町村広報紙を審査する岡山県広報コンクールで、「広報まにわ」が、特選を２年連続で受賞しました。特選となった号は2007年６月号。市民皆さんのご協力に感謝申し上げます。

団旗返還（3月4日　真庭市久世消防団）

真庭市消防団新生に向けて

歴史の重みを感じつつ、団旗返還

４月15日に、これまで連合消防団として組織されていた9つの消防団が再編成・統合され、一つの真庭市消防団として新生します。この統合を前にした3月、各消防団が培った長い歴史を重んじて閉団式を行いました。

各閉団式では、地域住民の生命と財産を守る消防団の象徴として数々の歴史を見守り、引き継がれてきた消防団団旗が真庭市に返却されました。

発足する真庭市消防団の組織では、9つあった消防団を7方面隊に再編成することになります。真庭市消防団結団式は、4月15日(日)に落合白梅体育館を会場に開催します。

■真庭市北房消防団
■真庭市落合消防団
■真庭市久世消防団
■真庭市勝山消防団
■真庭市美甘消防団
■真庭市湯原消防団
■真庭市中和消防団
■真庭市八束消防団
■真庭市川上消防団

再編

真庭市消防団結団式後の組織図

- 団長
  - 副団長
  - 副団長
  - 副団長
- 北房方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 4分団16部編成
- 落合方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 6分団24部編成
- 久世方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 5分団19部編成
- 勝山方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 3分団19部編成
- 美甘方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 2分団 8部編成
- 湯原方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 3分団12部編成
- 蒜山方面隊：方面隊長 ― 副方面隊長 ― 5分団18部編成

お知らせ Information

出産時の窓口負担を軽減
出産育児一時金受領委任払い

4月から国民健康保険被保険者が、出産後の退院時に医療機関窓口で支払う費用は、出産育児一時金を差し引いた額だけとなります(35万円が上限・市が直接一時金を医療機関に支払います)。利用するには市役所に申請し認定を受けてください。申請書受付期間は出産予定日の前々月初日から2週間前までです。

対象者　真庭市国民健康保険の被保険者の方で、妊娠4カ月(12週)以上の方

問い合わせ先　市民課(TEL 0867(42)1112)または各支局市民福祉課

入院時の窓口負担額を軽減
真庭市国民健康保険

70歳未満の国民健康保険被保険者が入院などした場合、4月から窓口負担は自己負担限度額までとなります。利用するには市役所へ申請して認定証の交付を受けてください。

※保険税を滞納されていると、ご利用になれません。制度についての詳細は、市民課(TEL 0867(42)1112)または各支局市民福祉課までお問い合わせください。

2期生募集
ボランティアガイド養成講座

北房地区の観光案内などを行っていただくガイド養成講座を開催します。講座では北房地区の歴史などについて講師を招き学習します。講座終了後、希望者はボランティアガイドとして登録ができます。受講は無料、定員は先着15名です。

※申し込み用紙は各支局総務振興課に用意しています。

申込期限　4月27日(金)

問い合わせ先　北房支局総務振興課　TEL 0866(52)2111

春の星山に登ろう
第15回星山スカイウォーク

「星山」は、登山口まで車で行くことができ、約1時間で登頂できるお手ごろな山です。蒜山や大山も一望できる1,030メートルの山頂を目指してみませんか。

開催日　4月28日(土)

入山式　午前10時30分～

集合場所　勝山美しい森キャンプ場(菅谷)

問い合わせ先　勝山文化センター　TEL 0867(44)2011

桜の下でピアノ演奏会開催
醍醐桜コンサート

ニューヨーク在住のピアニスト、ルース・ストレンチェンスカさんの演奏を聞く会を醍醐桜の下で開催します。

日時　4月12日(木)　午前11時～

場所　醍醐桜広場(別所)

問い合わせ先　生涯学習課　TEL 0867(44)7301

最新のIT環境が無料体験できる

全国IT キャラバン 2007 がやってくる

日程　5月12日(土)

会場　八束コミュニティセンター

①体験コーナー 10：00～16：30
　キャラバンバスやエアードームで最新のパソコン体験
　(無料・申し込み不要)

②セミナー
・インターネットの安全な使い方
　第1回…11：00～12：00
　第2回…15：30～16：30
・Windows Vista&the2007office system
　13：30～14：30

参加料は無料、定員はいずれも30名まで(先着順・要申し込み)

セミナー申し込み先
〒717-0013　真庭市勝山53番地1
企画観光部情報推進課
E-mail johhoh@city.maniwa.lg.jp
(※希望セミナーを記入)

真庭市の人口

総　数 53,016人(－59)
男　25,287人(－45)
女　27,729人(－14)
世帯数 17,523世帯(±0)

平成19年3月1日現在
( )は前月との比較

代表電話番号
(総務振興課・出張所)

勝山支局(勝山庁舎)
0867-44-2607
久世支局(久世庁舎)
0867-42-1111
落合支局(落合庁舎)
0867-52-1111
蒜山振興局(八束庁舎)
0867-66-2511
北房支局
0866-52-2111
美甘支局
0867-56-2611
湯原支局
0867-62-2011
中和出張所
0867-67-2111
川上出張所
0867-66-3611

真庭市消防本部
0867-42-1190

西日本初開催

クライミング日本選手権大会

4月28日(土)・29日(日)　会場：湯原クライミングセンター(禾津)

昨年9月に湯原で開催されたリード・ジャパンカップと並ぶプロ・アマが参加する国内最高峰の大会です。

ボランティアスタッフ募集中!

■活動日　4月27～29日のうちで調整
■活動内容　競技運営補助、弁当配布、会場清掃など
■申込資格　中学生以上で、市内に勤務・在住の方
■申込期限　4月13日(金)
■問い合わせ先　湯原支局総務振興課　TEL0867-62-2011

優良ジャージー牛が集まります
第8回スプリングショウ開催

おかやま酪農協が、第8回蒜山高原ジャージースプリングショウを開催します。会場では、ジャージー牛の共進会のほか、食肉・乳製品などが当たるイベントも行います。

日時　4月28日(土)　午前10時30分～
場所　蒜山高原ライディングパーク馬術競技場（蒜山中福田）
問い合わせ先　おかやま酪農協　津山支所蒜山出張所
TEL 0867(66)3655

春の津黒の里山で学ぼう
津黒自然観察会

津黒いきものふれあいの里で自然観察会を開催します。里山に囲まれた施設周辺を散策し、芽吹いた植物などを観察します。春の息吹を津黒高原で見つけてみませんか。

日時　4月29日（日・祝）　受付時間午後12時30分～
場所　津黒いきものふれあいの里（蒜山下和）
参加費　無料
持参物　雨具、筆記用具、ルーペなど
問い合わせ先　ささゆり館
TEL 0867(67)7011

シャクナゲを観賞
市内2会場が開催

4月下旬から美しい花をつけるシャクナゲ。自生するシャクナゲを観賞する催しが市内の2会場で行われます。

①東谷石楠花まつり
4月中旬予定
場所　東谷地内（上河内）
問い合わせ先　落合支局総務振興課　TEL 0867(52)3315

②上田春まつり　4月29日(日・祝)～5月6日(日)
場所　普門寺周辺（田原山上）
問い合わせ先　普門寺
TEL 0867(52)0739

勇壮な五月人形が並びます
端午の節句祭

久世を愛する恋のぼりの会が、端午の節句祭を開催します。期間中、五月人形、天神人形、こいのぼりなどが旧遷喬小学校講堂など会場いっぱいに並びます。ご来場ください。

期間　4月29日(日・祝)～5月6日(日)
場所　旧遷喬尋常小学校
問い合わせ先　会代表　岡田健
TEL 0867(42)0434

往年の名車がやって来ます
ポンテペルレ2007

ポンテペルレは、阪神・淡路大震災復興をテーマに8年前から始まったクラシックカーパレードです。パレード2日目は、クラシックカー約80台が蒜山高原を通過し、旧遷喬尋常小学校に集まります。世界の名車をご覧ください。

日時　4月21日(土)　①道の駅蒜山高原　午後12時30分ごろ
②旧遷喬尋常小学校　午後2時30分ごろ
問い合わせ先　観光振興課
TEL 0867(44)2647

桜 開花に合わせたイベント情報

■醍醐桜まつり
4月中旬　醍醐桜付近（別所）
開花期間中は特産品販売、夜間9時までライトアップ
問　落合支局総務振興課
TEL0867-52-3315

■塩滝桜まつり
4月中旬　塩滝公園（関）
開花期間中はぼんぼり点灯有り
問　落合支局総務振興課
TEL0867-52-3315

■天領くせ桜まつり
くせトンネル桜ぼんぼり点灯
4月1日(日)～15日(日)　4月8日(日)にはゲームコーナー有り
問　真庭商工会
0867-42-4325

■岩井畝の大桜ライトアップ
4月上旬 岩井畝の大桜付近(岩井畝)開花期間中は特産品販売、夜間10時までライトアップ
問　勝山支局総務振興課
TEL0867-44-2607

■「美甘宿場桜」さくらまつり
4月15日(日)　10:30～　真庭商工会美甘支所前　開花期間中は夜間ライトアップあり
問　真庭商工会美甘支所
TEL0867-56-2105

■ひるぜん天の岩戸桜まつり
4月14日(土)　10:00～　茅部神社(蒜山西茅部)　参道で1トンの岩を引く岩戸引き大会は見ごたえ十分
問　蒜山観光協会
TEL0867-66-3220

特産品の朝市

春の特産品などが盛りだくさん

春を迎えて湯原温泉あさ市も再開。4月の日程をご案内します。

久世軽トラ朝市
●毎月第3日曜日開催
4/15　8:00～10:30
久世エスパス土広場
問　農業振興課
TEL0867-42-1031

勝山もくもく日曜市
●毎月第2日曜日開催
4/8　8:00～9:30
勝山木材ふれあい会館
問　勝山支局産業建設課
TEL0867-44-2927

湯原温泉あさ市
●毎週日曜日開催
4/8、4/15、4/22、4/29
7:00～9:30　湯原温泉街
問　湯原支局産業建設課
TEL0867-62-2015

募集しています
資源回収推進団体

市では、新聞紙・雑誌・アルミ缶などの資源回収を行う団体を募集しています。対象は市内の自治会、コミュニティ団体などの非営利団体です。登録団体には、回収量などに応じて報奨金を支払います。

※登録の申請方法、報奨金など詳しくは、環境課（TEL0867（42）1113）または各支局市民福祉課までお問い合わせください。

桜をたくさん咲かせよう
勝山美しい森「桜のつどい」

勝山美しい森周辺には、約3、300本の桜が植樹されてきました。間もなく咲き始める桜の手入れを行います。合わせてバードウォッチングも行います。

日時　4月22日(日)　午前10時～
集合場所　勝山美しい森キャンプ場（菅谷）
持参物　スコップや剪定ばさみなどの苗木の手入れに必要な道具、双眼鏡
申込期限　4月13日(金)
問い合わせ先　勝山支局産業建設課　TEL0867（44）2927

中和地区の春の草花が材料
旬の盆栽教室

中和に自生する植物や新芽をのぞかせた挿し木の苗を使って、寄せ植えづくりを学んでみませんか。教室は年4回開催予定。今回は春の草花を材料にして行います。

日時　4月28日(土)　午前10時～
※時間は要確認
場所　津黒いきものふれあいの里（蒜山下和）
参加費　3、000円（植木鉢、用土、弁当代を含みます）
申込期限　4月25日(水)
問い合わせ先　ささゆり館　TEL0867（67）7011

募集しています
統計調査員

市では、国勢調査など各種統計調査に調査員として従事していただける方を随時募集しています。希望する方は、あらかじめ調査員候補者として登録が必要です。詳しくは、お問い合わせください。

- **仕事内容**
  調査票の配布・回収など。
- **申込方法**
  企画政策課または振興局・支局総務振興課備え付けの「真庭市統計調査員候補者登録書」に必要事項を記入して提出してください。
- **報酬**
  報酬は調査の種類や件数などによって異なります。

問い合わせ先
企画観光部 企画政策課
TEL 0867-44-2639

参加チーム募集
岩戸引き大会

ひるぜん天の岩戸桜まつりの岩戸引き参加チームを募集します。小学生は10人、一般は6人1組が1チームです。

開催日　4月14日(土)
場所　茅部神社（蒜山西茅部）
申込期限　4月10日(火)
申し込み先　蒜山観光協会　TEL0867（66）3220

手話をより深く学びませんか
手話奉仕員養成講座基礎過程

手話奉仕員養成講座基礎過程を開催します。対象は、手話奉仕員養成講座入門課程を修了された方およびそれと、同等の手話技術（知識）を持つ方です。

日時　5月11日(金)から毎週金曜日（全28回予定）　午後7時30分～9時30分開催
場所　久世公民館
受講料　1、470円（初回に集金）テキスト代
定員　25名程度
申込期限　4月27日(金)
問い合わせ先　福祉課　TEL0867（52）1112　FAX0867（52）1417

市道や施設が整備されました
水力発電施設周辺地域交付金

平成18年度水力発電施設周辺地域交付金により左記の事業を実施しましたので、お知らせします。

- 市道草加部線舗装補修工事（草加部地内）
- 市道新村線舗装修繕工事（横部地内）
- 市道尾平線路肩修繕工事（吉地区）
- 市道湯谷延風線舗装修繕工事（田口地内）
- 湯原温泉待合ステーション新築事業（湯原温泉地内）

問い合わせ先　企画政策課　TEL0867（44）2639

休日急患担当医

1日
- 落合病院・落合　0867-52-1133
- 遠藤クリニック（外）・川上　0867-66-3002

8日
- 勝山病院・勝山　0867-44-3161
- 杉江医院（外）・落合　0867-52-3456

15日
- 河本病院・落合　0867-55-2121
- 米田医院（内）・勝山　0867-44-2132

22日
- 金田病院・落合　0867-52-1191
- 片岡医院（内）・湯原　0867-62-3400

29日
- 近藤病院・勝山　0867-44-2671
- 松坂医院（内）・久世　0867-42-3300
- 吉弘クリニック（内）・北房　0866-52-2704

30日
- 湯原温泉病院・湯原　0867-62-2221
- 杉山医院（内）・久世　0867-42-5012
- さとう医院（外）・北房　0866-52-9898

※5月前半の急患担当医は25ページ下段に掲載しています。

4月の記念日・節気

5日　清明
7日　世界保健デー
20日　穀雨
29日　昭和の日

人権のことで悩んだら 特設人権相談所

真庭人権擁護委員協議会では毎月（隔月）、市役所各支局ごとに特設人権相談所を開設しています。人権に関する悩みごとや心配ごとなど、人権擁護委員の皆さんが相談に応じます。相談は無料で、秘密は固く守られます。開催日程などは各地区ごとに異なりますので、お問い合わせください。

問い合わせ先　真庭人権擁護委員協議会（法務局真庭支局内）
TEL0867(44)2156

ご参加ください 新規就職者激励会

真庭市および真庭商工会では、新たに地元企業へ就職された方が、地域発展のために活躍されることを期待して新規就職者激励会を開催します。

開催日　5月11日(金)
場所　久世エスパス
対象者　真庭市内の企業に平成19年度に新規就職された35歳までの方
申込期限　4月16日(月)
問い合わせ先　真庭商工会
TEL0867(42)4325

事前講習会を開催 危険物取扱者試験

危険物取扱者試験を次の通り実施します。

試験日　6月17日(日)
試験の種類　甲種、乙種（第1類～第6類）、丙種
試験会場　岡山、倉敷、津山市
※危険物取扱者事前講習会を勝山文化センターで実施しますのでご参加ください。
日時　5月31日(木)
対象　乙種（第4類）、丙種の受験希望者
※申込期限は試験、講習会とも4月27日(金)。願書は消防本部および各分署に用意しています。

問い合わせ先　真庭消防本部
TEL0867(42)1190

申し訳ありません お詫びと訂正

広報まにわ3月号6ページの図中、⑧プラスチック製品は「不燃ごみ」ではなく、正しくは「資源ごみ」でした。また、10ページのチャレンジウォーク参加者、清水薫さんは、正しくは清水勲さんの間違いでした。訂正してお詫びします。秘書広報課

休日急患担当医5月3～6日の日程

3(木・祝)	落合病院・落合	0867-52-1133
	米田医院(内)・勝山	0867-44-2132
4(金・祝)	湯原温泉病院・湯原	0867-62-2221
	杉山医院(内)・久世	0867-42-5012
	牧原医院(外)・北房	0866-52-2469
5(土・祝)	河本病院・落合	0967-55-2121
	谷田医院(外)・八束	0867-66-3616
6(日)	勝山病院・勝山	0867-44-3161
	イケヤ医院(内)・久世	0867-42-0122
	さくもとクリニック(外)・北房	0866-52-4833

入札結果（にゅうさつ）

総務部管財課
TEL0867-44-2618

●予定価格250万円以上の公共工事落札額を公表します。
●表記順
《入札日→工事名（発注課）→落札者→落札額（税抜き額）》

●平成19年2月14日

- 中川町地区管渠工事（上下水道部下水道課）
  ㈱岡真土建工業所…40, 400, 000円
- 国道482号バイパス工事に伴う施設移転工事（蒜山振興局総務振興課）
  ㈱大和建設…19, 700, 000円
- 鹿田・美川地区（2工区）ポンプ施設工事（上下水道部下水道課）
  山本設備工業㈱…16, 000, 000円
- 中川町地区真空ポンプ設備工事（上下水道部下水道課）
  ㈱INAX…18, 900, 000円
- 城内地区マンホールポンプ設備工事（上下水道部下水道課）
  山本設備工業㈱…18, 200, 000円
- 久世中学校敷地造成工事（教育委員会教育総務課）
  ㈱横山組…7, 200, 000円
- 上水田・山田地区（4工区）管路施設工事（上下水道部下水道課）
  上田建設㈱…6, 400, 000円
- 緩速ろ過池増設工事（上下水道部水道課）
  ㈱三協商建…5, 400, 000円
- 湯原温泉足湯施設設置工事（湯原支局総務振興課）
  ㈱大和建設…5, 000, 000円
- 普通河川定川河川災害復旧工事（建設部建設課）
  志田工業㈱…4, 000, 000円
- 蒜山高原スポーツ公園グランドゴルフ場整備工事（蒜山振興局総務振興課）
  ㈱八光…3, 200, 000円
- 呰部配水池追塩設備工事（上下水道部下水道課）
  ㈱ホクセツテクノ…2, 400, 000円

●平成19年2月20日

- 中島地区浸水対策管渠工事（上下水道部下水道課）
  ㈱岡田組…106, 000, 000円
- 中島地区分水ゲート設備工事（上下水道部下水道課）
  明和水門機工㈱…26, 000, 000円
- 美甘片岡頭首工復旧工事（産業部農林土木課）
  ㈱ウエモト組…17, 800, 000円
- 中島地区マンホールポンプ設備工事（上下水道部下水道課）
  田中機電工業㈱…8, 600, 000円
- 市道大屺線道路横断管改良工事（勝山支局業務管理課）
  ㈲柴田工務店…3, 500, 000円
- 市道宿浪線道路災害復旧工事（蒜山振興局産業建設課）
  ㈱西村工務店…2, 850, 000円

●平成19年2月27日

- 真庭市落合幼児教育センター外構工事（健康福祉部子育て健康推進課）
  ㈱森本組…26, 300, 000 円
- 見尾地区林地崩壊防止工事（産業部農林土木課）
  山陽ロード工業株式会社…17, 500, 000円
- 樫西（山生2号地）地区林地崩壊防止工事（産業部農林土木課）
  竹藤建設㈱…11, 900, 000円
- 豊栄地区林地崩壊防止工事（産業部農林土木課）
  松尾工業㈱…11, 500, 000円
  樫西（山生1号地）地区林地崩壊防止工事（産業部農林土木課）
  竹藤建設㈱…6, 800, 000 円
- 蒜山振興局庁舎緑化工事（蒜山振興局総務振興課）
  ㈲安井造園…2, 950, 000円

※今月から、エスパス催し情報に代わり、入札実施情報を掲載します。

真庭大使 インタビュー

岸田敏志さん

温かい心で迎える、真庭市をアピールしたいと願う気持ちづくりをお手伝いしたい。

真庭市出身の岸田敏志さんは、テレビ、舞台、音楽といった幅広い芸術の世界で活躍中です。故郷を愛する気持ちは強く、真庭市を広く全国へと情報発信する一端を担う「真庭大使」への就任も、快諾いただきました。

2月9日、現在進められている執筆作業のため一時帰郷されたご実家を訪問し、岸田さんに故郷への思いなどを、おうかがいしました。

問 QUESTION

真庭大使就任をご快諾いただき、ありがとうございました。故郷への思いなどをお聞かせください。

若いとき、だれもが思うように都会にあこがれ、大学から京都で過ごし、活動の場として東京で暮らすようになって53歳になりました。故郷に住んでいたのは18年間ですが、東京という土地で暮らしていると、緑と水と空気がきれいな土地、故郷で過ごした18年間の記憶が色濃くなり故郷に憧れを持つ自分がいることに気付きました。もちろん、わたしの親や兄弟、親戚たちが故郷で暮らしているからという理由もありますが、帰郷すると皆さんから昔と変わらぬ言葉をかけてもらえます。そのぬくもりが、わたしの心は故郷にあることに気付かせ、故郷に何か貢献できないだろうかという気持ちにさせてくれました。

今、岡山県のデスティネーションキャンペーンが始まっています。わたしも、キャンペーンの「ナビももたろう」として、全国に向け岡山県を紹介するガイド役になっています。市長さんから熱意を込めた言葉で、真庭大使の就任要請をいただきましたが、わたし自身も故郷「真庭市」に何かできればと、考えていたときだったんですね。

問 QUESTION

「真庭市」を広く全国にアピールするためにはどのようにしていくべきとお考えでしょうか。

真庭市で、全国的知名度があるといえば蒜山なのかなと思います。一例でいえば、わたしの学生時代には、蒜山ジャージーヨーグルトが美味しいといって探して回った記憶があります。それが後に空港に土産物として置かれるようになると、旅行者よりも客室乗務員の間で人気が高まり蒜山の全国的知名度アップに結びついたと記憶しています。蒜山へのアクセスも高速道路開通で良くなりました。かつての蒜山ロックフェステ

取材先で、こんにちは。

真庭人 INTERVIEW

ま にわ びと

ィバルのような、大きなイベントもあればと思います。

それと、来訪者を温かく迎えてあげられる環境づくりでしょう。例えば、醍醐桜に訪れるときというのは、桜が咲く時期に集中しますよね。そうなると渋滞が起きてしまう。一本道だから仕方が無いにしても、お越しいただいた皆さんに何か嫌な思いをさせないためにできることはないかと突き詰めて考えてみると、思いやりが大事ということに気付きます。「何とかならないのか」という気持ちに対して、誠実な言葉を返そうという気持ち。それは、交通整理の係員の対応だけじゃ駄目なんですね。醍醐桜を守り大切にしたいと願うすべての人たちに、この気持ちが生まれることが必要だと思います。

岸田敏志さん Profile

本名、稲田 英彦（いなだ・ひでひこ）さん。1953年真庭市（落合垂水）生まれ　1971年、京都教育大学体育学科に入学し教師を目指す。このころ知人が、レコード会社へ持ち込んだデモテープをプロデューサーが耳にした事からデビュー。シンガーソングライターとして『きみの朝』などの代表作を残す一方で、役者としてもドラマ『１年Ｂ組新八先生』『渡る世間は鬼ばかり』に出演、またミュージカル『ミス・サイゴン』『屋根の上のヴァイオリン弾き』など幅広い分野で活躍。現在、氏の思い出とともに市内風景なども登場する自叙伝的な小説を執筆中。

醍醐桜を例にしましたが、真庭市全域を見渡して、温かい気持ちでお迎えしようという気持ちの人たちが多く生まれ、真庭市を全国に積極的にアピールしてみようかという気持ちになること。これを、わたしたち真庭大使がお手伝いできれば良いのではと思っています。

問 QUESTION

その気持ちが市全域に広まると効果的だと思います。ただ、一体感づくりが難しくて…

そうした気持ちを直ちに生み出すことは難しいと思います。問題点を一つひとつ解決していく地道な活動が必要だと思います。例えば、住所を書き始めると頭では真庭市だと分かっているのに、真庭郡と指が反射的に動いてしまう。そういうことが起きるだけ、まだ若い市ですから、「まにわ」というと、「真庭市」と自然と口からこぼれ出るようにするためには、時間が必要でしょう。そういう状況ですから、皆さんがひとつの方向性を持ち進んでいこうとする意識と行動が大事なんだろうと思います。その意味では、道を切りひらく初代市長さんの仕事は大変で、責任も重大なんだろうと思います。一体感づくりの上でも、お手伝いができればとは思っています。

問 QUESTION

終わりに、故郷、真庭の市民皆さんへメッセージをお願いします。

わたしが、子ども時代を過ごした当時の社会、真庭の環境を作ってくれたのは、親父やお袋の世代です。お袋は3年前に亡くなりましたが、世代交代は確実にやってきています。そして、真庭市のこれからは、年齢でいえば、われわれの次の世代にかかっていると思います。次代を担う世代が、やる気を持ち動き、さまざまなアイディアを次々と出していくことが大切だと思います。そのアイディアに対しては、上の世代が判断をすることにはなると思いますが、各世代が手を取り合おうとすることが重要だと思います。世代が異なるというのは考え方も大きく異なっていると思います。しかし、異なる世代同士がお互いの考え方の良い点を尊重して協調しようとすることは、これからにとって大変重要な課題だと思います。

ですから若い世代も、こんなことを言ったら怒られるとか恥ずかしいと思うのではなくて、とにかくさまざまなアイディアを提案する。そのアイディアが実現できるかできないかはやってみないと分からないし、みんなで実現する方向を考えていけばいいことなんですね。システムとしても、会議の中だけじゃなくて昔の目安箱のようなシステム、今だったらメールもありますから、そうした広く意見を吸い上げるシステムを作り、若い世代たちの声、アイディアをどんどん集めて、真庭市の活性化につなげていってもらいたいと思っています。

若い世代は怖（おそ）れず、アイディアを出して真庭市の活性化につなげてもらいたい

まにわが好きっ 読者の広場

読者の広場は皆さんから寄せられたハガキなどでつくるページです。

今月は寄せられたお便り73通の中からチョイス

▲ PN 生徒会副会長♡

▲ PN まゆちゃん

▲ 山﨑紫野

今月のテーマ（2月号で募集）ひな祭り

岡田さんが今年作ったお雛様

手作りは楽しい

岡田明美さん（中島）

灯（あか）りをつけましょぼんぼりに♪。このメロディにウキウキとされる女性が多いのでは…わたしもその1人です。5年前に旧勝山町のお雛様作りの新聞記事を見て、先生を紹介していただき、毎年1、2組の手作りお雛様を作るようになりました。1月末からムズムズと手作りの虫が騒ぎだし、作業を始めるのですが、簡単で見栄えのあるお雛様作りをモットーに頑張っています。すでに、10組ぐらいはあるのですが、家で、勝山のお雛まつりに、ホテルにも飾ってもらったりと、お雛様作りを本当に楽しんでいます。

うれしい雛飾り

近藤富子さん（山久世）

にぎわった勝山のお雛まつり。少し離れた静かなところでも頑張ろうと椎ノ木おもてなし会では、旧勝山藩主三浦邸（岡）に、お雛様を飾りました。お雛様の飾り付けは、何歳になっても楽しみなものです。訪れた皆さんも喜んでくださり、お雛様に感謝しています。これからの時期は桜や椿などが三浦邸の庭園に咲きますので、ぜひ、お立ち寄りください。

庭園と雛飾りが眺められる三浦邸

誕生日が

PN くま（上中津井）

3月3日が僕の誕生日。幼少のころから誕生日が嫌いでした。なぜなら僕は男で、その日は、「女の子の日」だからです。けれど、そんなある年のひな祭りの出来事。「誕生日おめでとう！」なんと去年の担任の先生が僕の誕生日を覚えてくれていて、声をかけてくれたのです。「君の誕生日は覚えやすいけぇなあ」と言いました。そう、僕の誕生日は、すこぶる覚えやすいのです。それ以来、僕は誕生日がすっかり気に入ってしまいました。母上様、僕を3月3日に産んでくれてありがとうございます。

おもてなし

匿名希望（市外）

勝山のお雛まつりはとても素晴らしいと思います。お店もそうでないお宅でも、それぞれが精いっぱいのおもてなしで迎えてくれます。特に、お年寄りが元気な明るい笑顔で出迎えてくれるところがとても好きです。各地で開催されているお雛まつりを見て回っていますが、やはり勝山のお雛まつりが一番良いように思えます。また来年も楽しみにしています。

勝山のお雛まつり前夜祭にて

ささやかだけど

匿名希望（月田）

女性にとって、いくつになってもお雛祭りは心おどるお祭りです。とくに昭和10年、20年代生まれの女性で、幼いころにわたしのものといえるお雛様を持っていた女性は少なかったと思います。わたしも持っておらず、立派なお雛さまを持っている友だちをうらやましく思ったものです。豊かな時代になり、いろいろな意味で生活にゆとりができた今、自分で自分のささやかなお雛様を手にして、ささやかなお雛祭りを楽しむこと。年齢を重ねるとともに、それが楽しみになってきました。

お便り お待ちしています！

▲ PN ラムネ

▲ 筧　裕丞

▲ PN 水泳大好き! の妹

ここからは広報まにわを読んでのご意見やそのほかのお便りの一部をご紹介します。

バス減便について

PN 佐志水（蒜山湯船）

3月からバスの蒜山―勝山間が上下で4本なくなりました。高齢者にとり、夏や冬、バスが来るのを待つのは大変辛いものです。ハイヤーを使えとおっしゃりたい気持ちは分かりますが、高齢者も負担を増やしたくないのです。

公共交通対策担当の杜市づくり推進課に訊ねました。（4月から担当は市民課公共交通対策室）。民間事業者の路線バス運行には市などから多額の補助金が出されています。蒜山線では利用者の減と運行経費の増加に伴い、市の補助金負担も増加しています。現行制度では、減便などの運行は事業者が独自に判断するところであり、市の同意は必要とされていません。

市では、効率的で利便性が高く、また地域間の公平性にも配慮した新たな公共交通サービスを4月2日からスタートします。運行は各地域ごとになりますが、民間事業者運行のバスと市独自の公共交通サービスを上手く組み合わせてご利用いただければと思います。今月号の10、11ページを参照ください。

秘書広報課

意識が高まれば

井原香菜恵さん（横部）

わたしの通う勝山高校の総合学習で、今回のゼロエミッションフォーラムに参加しました。真庭の企業は今、とても注目されていることに驚きました。真庭の人のバイオマスへの関心と地球全体の人の意識が高まって、バイオマス事業が発展していくといいなと思いました。真庭の木を正しく大切に使ってほしいと思います。とても勉強になりました。

フォーラムの会場となった久世エスパス

これからもお元気で

斉藤さか江さん（山久世）

山久世の元気なおじいちゃんを紹介します。今年99歳になる山本秀夫さんは、農作物などの根を荒らすモグラを捕る名人です。山久世中のモグラの通り道を理解していて、今回わたしの家の庭でも捕まえてくれました。山本さん、いつまでも元気でいてくださいね。おじいちゃんからいつも元気をいっぱいもらっていますよ。

モグラを捕まえた山本さん

6月号の読書の広場

テーマは
「真庭の山」です。

市内の山へ登った感想、おすすめのスポット、登山活動など真庭の山の話題を200字程度でお寄せください。

- **川**柳の兼題は**「輝く」**
- **イ**ラストや**絵**はがき
- 広報まにわへのご意見やご感想、また皆さんの身近な出来事などもお寄せください。市内で開催された行事に参加した感想でも結構です。

お便りは、同封したはがきをご利用ください。お送りいただく場合は、必ず住所、氏名、年齢、電話番号を明記してください。匿名・ペンネームで掲載を希望される場合でも明記してください。

締め切りは4月26日㈭です。

※PNはペンネームの略です。

まにわが好きっ 読者の広場

▲ PN チャコ

▲ PN プリティ

▲PN ナウティカ

▲PN MISAKI♪

今月の1枚
卒業式後の様子
（蒜山中学校　3/16）

今年3月、市内小中学生954人（小学生454人、中学生500人）が卒業を迎えました。（昨年5月1日時点）。

資源有効化にご協力ください
川﨑　亘さん（開田）

リユースプラザ醍醐の里では、各家庭で不用となった物を引き取って再利用する取り組みを行っています。家にあって、捨てるのは惜しいが使わない物など、なんでも結構です。私たち環境推進委員が引き受けますので、お持ちください。資源を有効活用し、ごみを減らしましょう。

無火災のたすきをつなぐ
矢野憂雅さん（鍋屋）

サッカーチームのみんなで、無火災駅伝に参加しました。駅伝もサッカーと同じでチームワークが大切です。みんながつないでくれたたすきをかけ、アンカーとして力いっぱい走りました。来年もぜったい参加したいです。火事がおこらないように、ぼくたちも気を付けます。

自信を持って発表
横山真衣さん（日野上）

日野上分校休校式で、分校の思い出や歌、笛の演奏など、最後の在校生として自信を持って発表しました。4月からは本校の木山小学校に通います。日野上からは4人が通うので、木山小学校の皆さん仲良くしてくださいね。

取材先で、こんにちは。
真庭人（まにわびと）

音楽の楽しさを伝えたい
宮田晋平さん（上水田）

演奏会「音楽の贈り物」の開催は今年で4回目。地元に発表の場をつくろうと思ったのがきっかけでした。演奏会ではトロンボーンやピアノなど、さまざまな楽器の音色を楽しむことができます。演奏を通して、皆さんに音楽の良さ、楽しさを伝えていきたいと思います。来年以降も開催する予定です。ぜひ一度お越しになって、音楽を身近に感じてください。

ぼくたちわたしたちの学校紹介 11/28

木山小学校 下方1380

落合支局から国道313号線を南西へ約3㌔。紙屋橋前を右折した場所に木山小学校はあります。校舎は、昭和48年落成の3階建て。全校児童は130人です。教育目標は「21世紀を生き抜く子どもの育成」。児童1人ひとりの話す力、聞く力の向上に重点を置いています。年に2回、学年にとらわれず、ゲームや鬼ごっこを楽しむ「仲良し集会」を開いています。

昼休みにサッカーなどをして遊ぶ児童

真庭市栄養改善協議会の提供です

ヘルシーモクッキング

山菜の骨太ホットサンド

山菜とチーズがめぐり合い、カルシウム豊富な和風味のお手軽サンドです。

●材料（4人分）

・サンドイッチ用食パン16枚（耳なし）
・マーガリン　大さじ2
・山菜水煮　400g
A
しょうゆ　大さじ2
みりん　大さじ2
塩　少々
・ごま油　小さじ1
・かつおぶし　小2袋
・ピザ用チーズ　30g

●作り方

①熱したフライパンにごま油を入れ、水切りした山菜を加えて炒める。
②①をAで調味する。
③ホットサンドメーカーに、マーガリンを塗った食パン、②、かつお節、チーズ、食パンの順にのせ、はさんでこんがり焼く。
※オーブントースターを使って、ピザトーストにしてもおいしくいただけます。

エネルギー	370kcal		
たんぱく質	14.7g	脂質	16.8g
カルシウム	229mg	塩分	3.1g

今月のレシピ提供は
写真左から **米倉裕子**さん、
坂本美代子さん、**延原智子**さん
（北房支部）

図書館へ行こう

本の紹介

今月は落合公民館図書室から　TEL0867-52-3315

落合公民館図書室

〒719-3144
真庭市落合垂水618
開館時間（図書室）
9:00～18:30
休館日
毎月第4火曜日、年末年始

蔵書数は約15,000冊。子ども向けビデオも約150本揃えています。本は5冊（2週間以内）、ビデオは2本（2泊3日）まで。落合公民館図書室用貸出カード を作成すれば、市民の皆さんは、どなたでも借りることができます。

「パパはウルトラセブン ママだってウルトラセブン」

みやにし たつや 作・絵

どこにでもある家族の日常の様子が、ウルトラマンのイラストでかわいらしく描かれています。日常の小さなことに幸せを感じ、元気をいっぱいもらえる一冊です。子どもだけでなく、お父さんお母さんが読んでも楽しめる絵本です。

川柳「望み」

選：湯原川柳会　狩谷博子さん
6月号の兼題は「輝く」

八十路坂まだ捨てきれぬ望みあり　山根ひさ恵　大庭
高望み捨てのんびりと生きる老い　横山とも子　久世
新成人希望にみちて第一歩　小谷三千子　別所
新年に又今年はと持つ望み　舩津　浩子　後谷
ひとすじの望みに燃える受験の子　曽利　幸子　上市瀬
みどり子が万の希望の伸びをする　田村　桃代　久世
一歩ずつ望みが増えるリハビリー　妹尾　重美　下河内
ピカピカの望みを詰めたランドセル　松尾千恵子　月田
リハビリの歩く望みへ妻と試歩　楢本　公枝　上市瀬
春風に望みを乗せて子は巣立つ　菊池千江子　本郷
子へ孫へ望みつないで農守り　植田万里子　月田
望みかけ医師を信じて身をたくす　佐藤　巷江　蒜山上長田
試歩の道徐々に延びだし増す希望　国米きくゑ　久世
連敗の馬に望みが捨てきれず　樋口　春鶴　鉄山
年金の枠で望みを消化する　菱川知代加　一色
収穫の望みをかけて種を蒔く　河島　貞子　勝山
大海を泳ぐ望みを抱いて雑魚　田中　久栄　久世

〈軸吟〉最期まで元気でという高望み　博子

まにわの産地消 11

MANIWA NO SUN

樫西手すき和紙

お話　樫西和紙生産組合
小川秀雄さん、**星野詩穂**さん

よそにはない独創的な和紙づくりを行っています

はがきサイズの和紙をすく小川さん

樫西和紙工房の製品

樫西和紙工房では、はがき・絵手紙・版画など、多用途の和紙製品がそろっています。また、独自に考案開発した染色技術で、色鮮やかで芸術的な創作和紙づくりも行われています。（左写真は和紙工房）

樫西地区は、全国でも有数のミツマタ生産地として知られています。和紙づくりは、今から20年ほど前、地元特産品で地域づくりを行おうという機運の高まりに応え、地元のミツマタ生産農家数軒で樫西和紙生産組合を立ち上げ、始まりました。昭和62年、岡山県と旧久世町、生産組合が協力して和紙工房を建設しました。工房設立当初は、便せん、はがき、封筒を中心に作っていました。しかし、よそにはない独自の製品をと思い、7年前から3年をかけて染色技法を研究し、現在のような製品へと変わりました。また、個展開催や展示会への出品、和紙づくりなどの体験を通し、広く樫西和紙をPRする活動も行っています。

樫西和紙工房では、四季の花をすき込んだ花入り和紙、各種台紙用染和紙、水墨用、版画用、書道用、照明用、絵手紙用、ちぎり絵用、押し花用和紙などさまざまな和紙を作っています。そのほか、工房が独自に開発し、すいた和紙を絵のように染めた創作和紙があります。注文によるオリジナル創作和紙も作っています。ぜひ一度、工房で手にとってご覧ください。

乾燥中のミツマタ

ミツマタから作られた紙には虫がつきにくい・変色しにくい・にじまないなどの特徴があり、紙幣原料となっています。上写真は蒸して樹皮をはがしたミツマタを乾燥させている様子。乾燥後、水にさらし、さらに無駄な部分をとりのぞき、「白皮」を取り出す「しじり」という作業を経て和紙原料となります。

研鑽に栄誉（敬称略）

■緑十字優良運転者表彰
第47回交通安全国民運動中央大会
1/17　東京都
古金一將（古見）

■平成18年度局納みつまた協力者表彰　国立印刷局
理事長表彰　12/14　滋賀県　**湯川つねよ（樫西）**

■第62回国民体育大会冬季大会出場
2/10～13　秋田県

● ジャイアントスラローム競技

川﨑計哉▶（開田）

赤田康幸▶（下市瀬）

池田昌史▶（蒜山西茅部）

牧　宏紀▶（勝山）

● クロスカントリー競技

池田達弥（蒜山富掛田）

片山輝幸（蒜山東茅部）

友金園実（蒜山西茅部）

■第56回全国高等学校スキー大会出場
2/2～6　富山県

● クロスカントリー競技

石原研一朗▶（蒜山下和）

● スラローム競技
池田昌史（蒜山西茅部）

● ジャイアントスラローム競技
牧　宏紀（勝山）

■第44回全国中学校スキー大会出場
2/6～9　長野県

● アルペン競技
伴野晃平（禾津）▶

● クロスカントリー競技

◀川合優美子（蒜山中福田）

◀小谷真子（湯原温泉）

■第30回全国高校ハンドボール選抜大会岡山県予選会　1/13～14　総社市
女子の部優勝－玉野光南高校
市内出場者　**吉田亜由（福田）**
全国高校ハンドボール選抜大会出場
3/24～30　徳島県

■第28回西日本スキー技術選手権大会
1/27～28　鳥取県

岡山県1位
◀実原俊一（蒜山下和）
岡山県3位
渡辺陽介（湯原温泉）▶

第44回全日本スキー技術選手権大会出場
3/13～18　新潟県

■岡山県スキー・スノーボード技術選手権大会
1/27～28　鳥取県
総合２位－**入澤泰彦（蒜山下長田）**
第4回全日本スノーボード技術選手権大会出場　3/15～18　長野県

■第25回岡山県小・中学生空手道選手権大会岡山県予選会　11/26　岡山市　小学3年
男子組手の部２位－**戸田海人（久世）**
第6回全日本少年少女空手道選手権大会出場　3/21　東京都

■第16回全国高校剣道選抜大会岡山県予選会
1/27～28　岡山市　女子の部優勝－津山東高校
市内出場者
◀田村未紀（久世）
湯浅真衣（下方）▶

全国高校剣道選抜大会出場　3/27～28　愛知県

■JFAユース日本選手権2007出場　3/25　千葉県
クライミング競技
◀河島侑哉（豊栄）
大森啓太（禾津）▶

■日本ジュニア室内陸上競技大阪大会
2007出場　2/11　大阪市
出場種目　60mハードル
為本康平（台金屋）

■第38回全国高等学校バレーボール選抜優勝大会
岡山県予選会　2/3、10　岡山市
優勝－就実高校　市内出場者
赤木かおり（目木）　全国高等学校バレーボール選抜優勝大会出場
3/19～25　埼玉県

■2007全日本綱引選手権大会岡山県予選会
12/17　白梅体育館
優勝－**月田金太郎綱引クラブ**
2007全日本綱引選手権大会出場
3/4　千葉県

上を目指して

■平成18年度岡山県局納みつまた優良生産者表彰　大会会長表彰　12/14　滋賀県　**鳥山君子（樫西）**
■平成18年度岡山県良質堆きゅう肥共励会表彰贈呈式　3/8　美咲町
最優秀賞・特別審査員賞－**真庭市蒜山堆肥センター（蒜山西茅部）**　優秀賞－**丸山昭博（蒜山下福田）**

※このページでは、市内で受賞・出場をされた多数の皆さんの中から、全国・県高位以上を基準に掲載させていただいています。

ぐるっと まにわ 真庭

まちの話題

9年の歳月が4万人を誘う

天気にも恵まれ、過去最高の人出となりました

にぎわう町並み

「第9回勝山のお雛まつり」が3月3日から7日まで、今年も勝山町並み保存地区や新町商店街などの勝山地区中心地周辺で開催されました。お雛様を生かした催しは、今では県内だけでなく全国各地で開催されていますが、岡山県内に広めたと評されている「勝山のお雛まつり」。今年も、その人気は続き5日間で昨年を上回る約4万人の人出となりました。平成11年に始まった当初は、人の訪れも少なくささやかだった、この催しも今年で第9回。大きく様変わりした催しとなり、来年は節目の10年を迎えます。

無火災の願いをこめて

3月4日、無火災まちづくり駅伝が92チームの参加で開催されました。久世消防団が、火災のないまちづくりの啓発活動として開催を始めて今年で19回目。選手たちは、無火災の願いと声援を背に受けながら、久世地区内9・8キロの7区間でたすきをつなぎました。ゴール地点の遷喬小学校では幼年消防クラブの鼓笛隊が選手を迎え、婦人防火クラブの作ったシチューが走り終えた選手の体を温めていました。大会運営に携わったすべての皆さんの願いが叶うよう、平成19年も火災予防にご協力をお願いします。

無火災の願いをこめた、たすきを次の走者へ

設立準備委員や関係者約50人が出席した設立総会

スポーツを楽しもう

市で2例目の総合型地域スポーツクラブ、「しらうめスポーツクラブ」の設立総会が2月24日、ショッピングセンターサンプラザで開催されました。総合型地域スポーツクラブとは、年代、性別に係わらず、だれでも気軽にスポーツに親しむ地域づくりを目指すものです。平成17年に設立準備委員会が立ち上がった落合地区では、これまでプロサッカー選手を招いた教室開催など、クラブ設立に向けた準備と啓発を進めてきました。クラブの会員は現在250人、白梅総合体育館に事務局を置き、硬式テニスなど8競技の教室、2サークルで運営を開始します。

2/24 体動かし親子ふれ合う

子育ての輪を広げる催し「親子いきいきフェスタinまにわ」が白梅総合体育館で開催されました。市内の親子連れ約100人が参加。体操やゲームなどで、楽しくふれ合っていました。

3/4 津黒高原に春の声

津黒いきものふれあいの里（蒜山下和）が自然観察会を開催。約30名の参加者が、ささゆり館周辺を散策しカエル、ミツマタなどの動植物を観察。少し早い高原の春探しを楽しみました。

3/11 さまざまな音色奏でる演奏会

北房地区で活動する愛好家の皆さんが「音楽の贈り物」を北房文化センターで開催。子どもたちなど観客を前に、ピアノやマリンバなど、さまざまな楽器の音を乗せて演奏しました。

3/14 百歳おめでとうございます

３月10日、明治40年生まれの古谷勝代さん（高田山上）が100歳の誕生日を迎えられました。長寿の秘訣は3食きちんと食べ、よく働いてきたこと。これからも元気でお過ごしください。

3/21 力を合わせて植えたよ

「春のわんぱく植樹祭」が大野呂牧場（関）で開催されました。落合地区の小学生31人が参加し、シラカシやツツジなど130本を植樹。植えた木は将来、牧場施設の防風林として育ちます。

植樹作業を行う地区の皆さん

美しい里山の風景づくり

３月11日、久世の惣地区で植樹会が行われました。植樹が行われた場所は、久世市街地が一望できる配水池のある場所。平成12年に行われた植樹で残された部分にも、里山の風景をつくりたいと、地元有志住民の皆さんが市と協働して作業を行いました。約0.6ヘクタールの傾斜地に植えられたのは、ソメイヨシノ・ハナカイドウ・ツツジ・ユリノキなど、春や初夏に美しい花を咲かす約百本。作業が行われた当日は雪が吹き付ける寒い日となりましたが、地区30人の皆さんは、花の咲く日を願いつつ一苗、ひと苗ていねいに植えていました。

キャラバンカーの絵本を読む子どもたち

本と仲良くなろう

３月17日、「本と遊ぼう全国訪問おはなし隊」が北房文化センターにやってきました。会場では、おはなし隊と地元のボランティアの方による紙芝居や絵本の読み聞かせが行われ、参加した親子らに本の世界の楽しさを伝えていました。また、子どもたちがキャラバンカーに積まれた本の中から好きなものを選んで、お母さんと一緒に読む姿も見られました。おはなし隊の訪問は、子どもたちが本に親しむきっかけを与えてくれたようです。

広報まにわ4月号
平成19年4月1日発行（通巻24号）
■発行　真庭市役所　■編集　総務部秘書広報課
■秘書広報課　Eメール　hisho@city.maniwa.lg.jp
〒717-0013 岡山県真庭市勝山53-1　TEL 0867-44-2613
ホームページ　http://www.city.maniwa.lg.jp

観光回廊まわに真庭

岡山デスティネーションキャンペーンに合わせて実施します！

特別イベント

詳しくは 企画観光部 観光振興課まで
TEL 0867-44-2647

岡山デスティネーションキャンペーンとは、全国ＪＲ６社と岡山県が共同で岡山県の魅力を全国にＰＲし、観光客の皆さんをお迎えしようという大型観光キャンペーンです。真庭市でも、この機会を生かし、真庭市観光協会、真庭観光連盟と協力して次の特別イベントを展開していきます。

1 観光回廊真庭 シールラリー

●開催期間　4月1日～6月30日

市内協賛観光施設や観光イベントで、買い物などをするとシールがもらえます。このシールを集めて左パンフレットにある台紙に貼って応募すると、抽選で市内の特産品や、旅館宿泊などの賞品が当たります。各協賛施設などでパンフレットは用意しています。

2 観光回廊真庭 周遊バス

●開催期間
４月１日～６月30日の土・日・祝日と5月1、2日

湯原温泉を出発地にした市内観光周遊バスを運行します。４月は桜の名所巡り。５月は新緑の蒜山高原へ。６月は旧遷喬尋常小学校や備中鐘乳穴（かなちあな）などを巡ります。

3 旧遷喬尋常小学校 真庭「昭和懐かしの学校給食」

●開催期間　４月１日～６月30日の土・日・祝日

国指定重要文化財の旧遷喬尋常小学校は、今年で創立100周年を迎えます。この校舎でひと昔前の給食を再現したお食事を提供します。１日限定40食、ノスタルジックな校舎の教室で懐かしい給食。予約制です。

4 観光回廊真庭 ゆったりウォーク

●開催期間
５月26日(土)・27日(日)

１日目は、新緑の蒜山高原・津黒高原を、５～15キロコースの中から選択したコースでウォーキング。２日目は湯原・美甘・勝山、で設定したコースの中から、参加者がお好みのを選択するウォーキングイベントを開催します。

申し込みは、各支局窓口などに置いてある左申込書で。申込締切は４月10日まで。参加希望の方はお急ぎを（当日参加も可）。

5 のれんの町勝山 ボランティアガイド定期便

●開催期間
4月1日～6月30日の土・日・祝日と5月1、2日

ＪＲ岡山駅発の直通列車（中国勝山駅行）到着時刻と、「観光回廊真庭周遊バス」の勝山到着時間に合わせて、土・日・祝日の１日１回（正午からの予定）、通常有料の観光ガイドを無料で実施します。

編集後記
まにわがスキッ!!

通算７年の広報担当から離れます。カメラを通して見た合併協議、市の誕生。数多くの歴史的瞬間の現場に立ち会い、そして市広報の草創に携わりました。皆さん、本当にありがとうございました。　茂

蒜山中学校の卒業式にお邪魔しました。式終了後の最後のホームルームで、恩師の言葉に涙する卒業生たち。感動的な光景でした。わたしも広報担当を離れます。皆さん、１年間お世話になりました。　西

宮峪窯（みやさこがま）で炭焼きをしている方の話。炭でイノシシを焼いて食べ交流を深め、燃料以外ではカルキ抜き、脱臭剤としても利用。副産物の木酢液は農業で活用しているとのこと。うまく循環しています。　圏

PRINTED WITH SOY INK
この広報紙は、環境にやさしい大豆油インキを使用しています。
R100
古紙パルプ配合率100%再生紙を使用しています。